

縮尺 20 万 分 の 1

土地分類図付属資料

(石 川 県)

昭 和 49 年 3 月

経 済 企 画 庁 総 合 開 発 局

縮尺 20 万分の 1 土地分類図付属資料

目 次

利用者のために

	頁
A 土地条件等の概要の部	
1. 地形区分とその性状等の概要	1
2. 表層地質の分布とその性状等の概要	4
3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性の概要	6
4. 土地利用現況等の概要	15
B 統計の部	
1. 土地利用現況	22
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳	22
1-2 A. I. D. およむね 10 万人以上の都市の土地利用現況の内訳	26
2. 自然的土地条件	28
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳	28
2-2 標高区分別面積市町村別内訳	31
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	34
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳	40
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳	44
3. 土地利用可能性分級	48
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	48
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	50
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	50
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	50
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	51
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性等級区分との関連	51
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	52
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	54

利用者のために

I 編集方針

この付属資料は縮尺20万分の1土地分類図についての土地条件等の概要説明と面積統計とに分けられるが、面積統計については1-1表「土地利用現況別面積市町村別内訳」および1-2表「D. I. D. おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」を県統計資料及び関係市への照会により作成し、その他の統計は、原則としてそれぞれの統計項目に対応した縮尺20万分の1土地分類図の図幅について面積を測定し製表作成した。

II 面積統計の作成

1. 面積統計のうち、1-1表「土地利用現況別面積市町村別内訳」および1-2表「D. I. D. 人口おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」は県統計資料等を使用して作成した。その資料名および方法は次によった。

- 1) 石川県(1965年)能登半島学術調査書
- 2) 石川県農林統計協会(1971~1972年)石川県農林水産統計年報
- 3) " (1969年) 石川の米
- 4) " (1972年) 石川の野菜
- 5) 石川県農林部 (1973年) 石川県農林水産の動向
- 6) " (昭和48年1月) 石川県林業の動向
- 7) " (昭和46年度) 石川県林業要覧

土地利用現況別面積の農地(田畑)および宅地の面積は、「石川県農林水産統計年報」および「石川県農林水産の動向」を用いた。

また林地の利用現況は「石川県農林水産統計年報」と「石川県林業の動向」および「石川県林業要覧」を参考にした。

公共用地その他は市町村面積から農地、草地、林地および宅地面積を差し引いたものである。

「D. I. D. 人口おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」は該当市へ照会、調査して作成したが、市街地は昭和48年調査におけるD. I. D. 地区とした。

2. 面積統計のうち、2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳表」によった。原則として縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積測定を行ない製表したものである。たとえば、2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は、傾斜区分図(オーバーレイ)を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形分類」を用い、前者においては土地利用可能性分級である類地パターンを、後者においては、地形区分のパターンをそれぞれ重ね重ねて面積測定を行ない、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

縮尺 20 万分の 1 の土地分類図の各図幅と、付属資料統計表との関連を示すと次のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

統計表の名称 土地分類等の名称		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		地形分類図	起伏量、谷密度図	傾斜区分図	表(平面的)分類図	表(垂直的)分類図	土壊図	土壌生産力図	土地利用可能性分級図	土地利用可能性分級図	標高区分図	県統計資料等
1-1	土地利用現況別面積市町村別内訳											○
1-2	D. I. D. およびむね 10 万人以上の土地利用現況の内訳											○
2-1	傾斜区分別面積市町村別内訳			○								
2-2	標高区分別面積市町村別内訳									○		
2-3	地形区分別面積市町村別内訳	○										
2-4	土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1	土地利用可能性分級分面積市町村別内訳									○		
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関係	○								○		
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関係			○						○		
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関係									○	○	
3-2-4	土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関係							○		○		
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳									○		○

Ⅲ 利用上の留意事項

土地分類図の各図から面積測定された統計項目別面積は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺20万分の1の土地分類図の場合は最小図示単位として1Km²（図上で5mm平方）を原則とし、特殊な場合においても最小径400m程度（図上で2mm程度）を限度としたため、実際の面積とは一致しない場合もあると考えられる。とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあってはこの傾向が強いと考えられる。従って、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく、概括的把握ないし項目の構成比率等を参考にするようにされたい。

Ⅳ 表中の記号について

「○」は数値が掲載単位に満たないもの

「-」は該当事実のないもの

「 」(空白)は編集時において資料がなく不明のもの

Ⅴ 本調査に当たった関係機関は下記のとおりである。

調査機関一覧

総括調査	石川県農林水産部耕地整備課	金沢市広坂二丁目の一	TEL 金沢 61-1111 代
地形分類	金沢大学理学部	金沢市丸の内一の一	
表層地質			TEL 金沢 62-4281 代
土 壤	石川県農業試験場	石川県石川郡野々市町中林ト86	
土地利用現況			TEL 0762-48-1335代
土地利用可能性 分 級	石川県林業試験場	石川県石川郡鶴来町三の宮町ホの一	TEL 07619-2-0673代

A 土地条件等の概要

1 地形区分とその性状等の概要

1-1 地形区分の概要

日本海に突出した能登半島を含んで南北に細長くのびた輪郭を示す石川県は、その地形的特徴によって、金沢市附近を境とする(1)北・中部区域と(2)南部区域、および県西南部の海岸に臨んで発達する(3)加賀低地区域の3つに大きく区分される。

能登と加賀北部を含む北・中部区域は、低山性の小起伏山地と丘陵地とで特徴づけられ、七尾から羽咋に至る邑知潟低地帯を境としてさらに北部区域と中部区域とに二分される。北部区域では、能登山地が北側に偏在し、南側に広く能登丘陵が発達するほか、富山湾沿岸および西側の日本海沿岸に沿って随所に海岸段丘が分布し、また富山湾沿岸のいわゆる内浦海岸は屈曲に富むリアス式海岸を形成している。中部区域は、邑知潟低地帯に隣接して並走する石動・宝達山地と、その南の津幡・森本丘陵とからなる。

南部区域は、加越山地と、その前縁を占める能美・江沼丘陵とから構成される。主体をなす加越山地は、福井・岐阜・石川・富山各県にわたるいわゆる加賀美濃山地の一部にあたり、高～中山性の大～中越伏山地で特徴づけられる。白山、大日山、戸室山等の各火山も本区域内に分布する。

加賀低地区域は、その大部を占める扇状地および潟埋積平野と、金沢周辺や南部加賀にみられる台地・段丘、および海岸をこちどる顕著な沿岸砂丘とからなる。

以下に各地形要素別に性状等の概良を述べる。

1-2 山 地

県内には、北から能登山地、石動・宝達山地、加越山地の三山地がある。

能登山地は、東から西へ、宝立山(469m)、高洲山(567m)、桑塚山(408m)などを高峯とする海拔高度400～300mの比較的良く開析された低山性山地で、新第三紀の火山岩類と堆積岩類とから構成されている。その性状に於てとくに差異はないが、山地を横切る小河川、すなわち町野川と河原田川とをそれぞれ境として、宝立山地、高洲山地、鳳至山地とに細分し得る。

石動・宝達山地は、石川・富山の県境をなして北北東から南南西に連なるもので、石動山(565m)や能登の最峯宝達山(637m)を含み、全般にやや急峻な地形と呈する。本山地を構成する主体は、新第三紀の各種岩類であるが、上記の石動山や宝達山などの高峯には花崗岩・片麻岩からなる先第三紀の古期岩類が高く突出している。

加越山地は、県南東隅の石川・福井・岐阜三県にまたがる海拔高度2千数百メートルの白山地区を頂点として、北方および西方へ漸次高度を減じて加賀低地に臨む山地で、海拔高度、起伏量、火山・非火山の別などに基づいて、加賀、医王、富樫、能美の各山地と、白山、大日山、戸室山の各火山地とに細分される。加賀山地は加越山地の主体をなすもので、山頂高度概ね1000m以上、河谷によって深く

刻まれた急峻な大～中越伏山地で、下流に顕著な扇状地をもつ手取川は、本山地をその流域としている。古期の片麻岩類、中生代の堆積岩類と流紋岩質火山岩類、および新第三紀の火山性岩石（火山岩と凝灰岩類）が、本山地の主な構成物であるが、このうち、中生代の堆積岩類からなる地域は、その他の地域とくらべて、全般にいくらかゆるやかな山腹傾斜を示す傾向がみられる。医王山地は、加越山地からノーズ（鼻）状に北に突出した形を示す小規模な中起伏山地で、医王山（ 939 m ）をその主峯とし、新第三紀の火山性岩からなる。富樫能美両山地は、ともに加賀山地のいわゆる前山的性格をもつ小起伏山地で、加賀山地との間に、とくに明瞭な境界はない。本山地も堆積性および火山性の新第三系から構成されている。県南部の県境地帯に発達する白山火山地および大日火山地は、いずれも第四紀以降の火山活動により形成されたもので、白山（御前峯 2702 m ）、赤兎山（ 1629 m ）、大長山（ 1671 m ）、大日山（ 1369 m ）などが主峯をなす。両火山地ともに、安山岩質の熔岩と火山礫屑物とからなり、もともと基盤高度の高い所に形成されたもので、例えば白山の場合、現在の火山体の高まりはせいぜい数 100 m とみつもられている。なお、白山を除いては、有史時代の火山活動の記録は知られていない。戸室火山地は、金沢市街東方にあり、戸室山（ 548 m ）とキゴ山（ 546 m ）を形成する安山岩の熔岩円頂丘と、周辺の火山泥流堆積物から構成される。

1-3 丘陵地

県内の丘陵地としては、能登丘陵、津幡・森本丘陵、能美・江沼丘陵がある。

能登丘陵は、能登山地とともに、能登半島の主要部を構成するものであり、その分布によって、さらに奥能登丘陵、中能登丘陵、能登島に区分される。奥能登丘陵は、最高高度約 300 m 、よく開析が進み、一般に平坦面の残存度は極めて小さいが、なお全体として定高性は容易に認められ、その背面は富山湾側に向ってゆるく傾斜している。本丘陵の主体を構成するものは新第三系の諸岩層であるが、山稜部には、中期洪積世とみられる砂を主とする未固結堆積物が、断片的ではあるがほぼ全域にわたり、かつ種々の高度に及んで分布している。現在の丘陵背面は、恐らく洪積世中期の堆積面あるいはそれと関連のある侵食平坦面を意味するものであろう。中能登丘陵と能登島は、 225 m および 197 m をそれぞれの最高点とする一般に 200 m 以下の低平でなだらかな丘陵で、低所の一部には中期洪積世の堆積物がやや広く分布するが、大部分は、新第三紀の安山岩類と堆積岩類とから構成されている。

能美・江沼丘陵は、加越山地の前縁をふちどって、鶴来から大聖寺にかけてつらなるなだらかな丘陵で、北東部では最高 200 m の高度を示すが、次第に高度を減じて南西部では 100 m 以下となる。ほぼ全面にわたって、中期洪積世の未固結堆積物によって覆われている。

1-4 台地・段丘

県内にみられる台地・段丘には、海成および河成の両者があるが、とくに前者の発達は著しく、能

登各地にみられる海岸段丘はとりわけ著名である。

海成の中位段丘は、能登半島北東端の平平台地によって代表されるもので、段丘面の海拔高度は20～60m、かなりの開析をうけて波状のゆるやかな小起伏を示す場合が多いが、平坦面は容易に認めることができる。多くの場合、高度の異なるいくつかの面にさらに細分し得る。この中位段丘は、能登半島の富山湾沿岸と西側の日本海沿い、および南部加賀の橋立台地と粟津周辺（月津台地など）によく発達しており、その多くは段丘堆積物を載せているが、能登島を中心とする七尾湾周辺各地の段丘では、殆んどあるいは全く段丘堆積物のみられないものが少なくない。海成の下位段丘は、面の海拔高度10～15mで、富山湾に面する前波附近および穴水近辺に小規模に分布する。ともあれ、能登丘陵の沿岸部に於ては、その各所に海岸段丘の発達をみることに注目される。

河成段丘は、手取川流域、金沢市周辺（犀川、浅野川流域）、大聖寺川流域、七尾市西南方（徳田段丘）などで比較的顕著に発達しており、例えば金沢市周辺では、4～5段の段丘が認められる。このほか小規模を開析扇状地とみられるものが、山代附近や七尾市南方に分布する。

1 - 5 低 地

県内の低地としては、金沢平野と邑知瀉低地が顕著であり、また特徴的なものとして、県南西海岸に沿って長大な分布を示す沿岸砂丘の発達をあげることができる。このほかでは、飯田、輪島、田鶴浜などの臨海地と、高浜附近、押水附近に小規模な低地が分布するにすぎない。

金沢平野は県内最大の平野で、扇状地と瀉埋積平野とから構成される。同平野の中央を占める手取川扇状地は、海拔高度80m余の鶴来町附近を扇頂とする典型的な扇状地地形を呈し、平均勾配約1/150、その末端は直接日本海に臨んでいる。これと接して北側に小規模な犀川扇状地がある。手取扇状地の北側および南側には、それぞれ河北平野、小松・江沼平野が発達する。この両平野の大部分は、沿岸州により閉塞された瀉湖（lagoon）が埋積されて形成されたもので、その名残りとして、河北瀉、柴山瀉、今江瀉などが残されていたが、いずれも近年干拓地化されている。なお、金沢平野北方の押水低地、能登高浜附近の低地（福野平野）も、ともに小規模な瀉埋積平野である。

邑知瀉低地も、その南東側の石動・宝達山地から流入するいくつかの小河川により形成された複合扇状地と、瀉埋積平野（現邑知瀉周辺部）とからなる。なお、本低地は、古くから“邑知瀉地溝帯”とよばれているが、地質的な意味で“地溝”であるか否かについては、さらに今後の研究にまつ必要がある。

県南西海岸に沿って羽咋から福井県境にかけて発達する海岸砂丘は、平取扇状地の末端部と橋立台地に於て一時中断されるが、総延長は70Kmに近く、市の最大は約2Km、最高点は60m余を示し、日本でも有数のものである。砂丘列は一列とは限らず、しばしば二ないし三の平列砂丘が発達している。このほか、富来、高浜、能登半島先端部の宇治、蛸島にも、小規模な砂丘が分布している。

（金沢大学 山田 一 雄）

2 表層地質の分布とその性状等の概要

表層地質の観点からすれば、石川県内に分布する地層および岩石は、(1)堆積物および堆積岩、(2)火山性岩石、(3)深成・変成岩に大別される。

(1) 堆積物および堆積岩（未固結～半固結～固結堆積物）は、県内に広く分布し、土地利用の高度な地域の多くは、これらの上に立地している。その生成年代によって大別すれば、下記のようになる。

第四紀	沖積世	砂丘・浜堤・砂州（砂）	}	末固結
		沖積堆積物（礫・砂・泥）		
	洪積世	末期 扇状地礫層		
		後期 段丘堆積物（礫・砂・泥）		
	中期 礫・砂・泥層	}	固結	
	前期 礫岩・砂岩・泥岩層			
新第三紀	鮮新世	後期 砂層	}	半固結
		前期 泥岩層		
	中新世	後期 泥岩層	}	固結
		中期 砂礫岩層，砂岩層，泥岩層		
	前期 砂礫岩層，砂岩泥岩層	}	著しく固結	
中生代 （ジュラ紀～白亜紀）		頁岩・砂岩互層 礫岩・砂岩 礫岩	}	著しく固結

上記のうち、中生代に形成された堆積岩は、白山北西側の手取川上流域に分布し、一括して手取層群とよばれるものである。

新第三紀の地層は、金沢以北でとくに広く分布し、能登半島の基部、北西部、北東端部にも分布する。一部を除いて海成の堆積物で、全体としては下部が砂礫質、上部が泥質となっている。

新第三紀層のうち、鮮新世後期に属する半固結の砂岩層は、金沢周辺の大桑層で代表される均質中粒～細粒のもので、とくにその下半部には貝類化石を多産する。大桑層に相当するものは、津幡・宇の気・高松・押水地区の丘陵縁や、志雄地区にも分布する。

鮮新世の地層のうち、七尾東方の崎山半島と能登島東部の小範囲に分布するものは、石灰質シルト岩で代表される。

洪積世前期の地層は、金沢周辺の卯辰山層によって代表され、宝達山南西側にも分布する。半固結の粗粒砂層の間に泥層や礫層を介在し、金沢以南では著しく礫質となる。汽水性～淡水性の環境で形成されたものである。なお、この卯辰山層は、その下位の大桑層などとともに変形を受け、金沢付近の山麓縁では著しく急斜している。

洪積世中期の地層は、加賀南部の丘陵縁部と、金沢周辺の一部、宝達山西側、七尾地区などの地表に分布し、未固結の礫・砂・泥層から成っている。金沢以南の平野部の地下にも伏在するものと考えられるが、その性状や層序関係、年代、分布などについては未詳の点が多い。

洪積世後期の堆積物としては、海岸段丘堆積物（砂層を主とする）と、河岸段丘礫層とがある。海岸段丘層は、南部の加賀市・小松市地区、宝達山西側、七尾周辺、高浜地区、富来西方などに分布し、もっとも代表的でよく調査されたものとしては、半島北東端の珠州市平床地区や松波・小木地区のものがあげられる。河岸段丘礫層は、金沢周辺の犀川・浅野川沿い、手取川流域、大聖寺川流域などによく発達している。

洪積世末期から沖積世にかけて形成された手取川扇状地は、典型的なもので、厚い扇状地礫層からなる。この礫層は沖積平野の地下にも伏在する。

沖積堆積物は、河床堆積物と、平野埋積層とに大別されるが、前者の分布はごく小範囲に限られる。洪積世末期（約2万年前）の海水準下降期以後、海水準上昇の過程で形成されたもので、金沢・河北平野での厚さは最大60mをこえる。一般に泥質層に富み、とくに、江沼平野や河北瀉湖（ラグーン）化した部分の埋積層は、著しく軟弱な泥層から成る。小範囲ではあるが、高浜東方の旧福野瀉地区、七尾市街にも軟弱な泥層があり、後者の場合には、地下水揚水に起因する地盤沈下は、主としてこの泥質層の圧密によっておこっている。邑知低地帯も広く沖積堆積物によって被われているが、旧邑知瀉地区では泥質層が厚く、北部では砂層・礫層が多くなる傾向がある。

砂丘・浜堤・砂州によって形成された砂層は、羽咋以南の海岸ぞいに広く分布し、高浜、富来、珠州市蛸島などにも小規模な沿岸砂丘が見られる。羽咋一金石間の汀線部の砂については、南部ほど粗粒となる傾向が認められる。内灘砂丘では、新期砂丘の下位に旧期砂丘が埋没しており、両者の間に介在する泥炭層のC14年代は約2,000年B.P.であり、泥炭層と同層準の埋積土壌からは、縄文後期～彌生期古墳時代の文化遺物の産出が知られている。したがって、この場所での新期砂丘の形成時期は約1,500年前頃以降と考えられる。

- (2) 火山性岩石を、その形成年代ならびに岩質によって大別すれば下記のようになる。

第四紀安山岩質岩石および火山砕屑物

新第三紀の火山性岩石

{	流紋岩質岩石
	安山岩質岩石および凝灰角礫岩類
	凝灰石質岩石

白亜紀後期～古第三紀の流紋岩質火砕岩

第四紀の火山岩は、白山地域と、その西南側の福井県境稜線部とにやや広く分布し、金沢東方の戸室山とキゴ山にも安山岩から成る溶岩ドーム状の地形が見られる。白山頂上部とその周辺では、新期溶岩、火砕流堆積物、旧期溶岩などが区別され、白山火山の形成史が明らかにされている。戸室山の周辺には、泥流堆積物がやや広く分布し、台地状の地形をなしている。

新第三紀中新世に形成された火山性岩石は、とくに石川県南部と、能登半島とに広大な分布を占めている。その大部分は、中新世前期～中期のものである。「石川県南部では、流紋岩質火砕岩がとくに広い分布を占め、流紋岩質熔岩が各所に点在する。その下位には、安山岩質の熔岩および角礫凝灰岩類から成る火山性岩石がある。宝達山東南側にも、中新世の流紋岩質火砕岩がある。

能登半島に分布する火山性岩石は、安山岩質岩石および同質凝灰角礫岩を主とするもの（穴水累層）と、流紋岩質ないし石英安山岩質の火砕岩を主とするもの（柳田累層）とに大別される。後者にはしばしば溶結部をとまない、また、玄武岩熔岩が介在する。

このほか、小範囲の火山性岩石としては、曾々木付近（岩倉山）の流紋岩と、それにつづく流紋岩質凝灰岩層、剣地付近にみられる中新世後期の安山岩体などがある。

白亜紀後期～古第三紀に形成された流紋岩質凝灰岩類は、白山北側に広く分布し、犀川上流や大聖寺川上流の小範囲にも露出する。これは、中部日本に広く分布する濃飛流紋岩類に対比されるもので、主体は熔結凝灰岩をとまなう火砕流堆積物とみられるが、なお調査不十分である。

(3) 深成・変成岩は、便宜上花崗岩質岩石、片麻岩質岩石、結晶質石灰岩に大別して図示した。

花崗岩質岩石は、主として花崗閃緑岩ないし石英閃緑岩で、宝達山にやや広く露出するほか、石動山地区、邑知瀧低地帯の北縁、半島北西部の各所などにみられる。これにともなって、片麻岩質岩石が分布する。

手取川上流地域には片麻岩類のやや広い分布が見られ、その間に結晶質石灰岩が介在する。片麻岩類は大聖寺川上流などにも分布する。

（金沢大学 細野 義夫）

3 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性の概要

自然的、社会的条件から加賀地域と能登地域に大別される。加賀地域の東南部は白山山系に属する山岳地帯で、福井、岐阜、富山の三県に接し、森林資源も多く、これを源とする手取川はその流域に扇状地を形成し、このほか浅野川、犀川、梯川、動橋川、大聖寺川等の各河川によって沖積された沖積土壌となり、県下の穀倉地帯である加賀平野となっている。

能登地域は宝達山系によって富山県と境し、北部は日本海に細長く突出した能登半島につらなり、中心部は丘陵地帯でその中小河川が流れ各流域ごとに小平野地を形成して農林業が行われている。

加賀市から羽咋市にいたる日本海沿岸は、一部を除き鳥取県に次ぐわが国第2の砂丘地帯で海岸線にアカシマ、松等が植栽されている。農用地はブドウ、葉煙草、アスパラガス等が栽培され、海岸線の総延長は600Kmにも及び、その周辺は広い大陸棚となり、寒暖流の影響を受け、恵まれた漁場立地条件のもとで水産業が発達している。

本県の土壌は9土壌群、26土壌群に分類され、その内訳は次のとおりである。

土 壤 統 群 一 覧 表

大土壌群	土 壤 統 群
岩石地	岩 石 地
未熟土	残積性未熟土壌 砂丘未熟土壌
黒ボク土	厚層黒ボク土壌 黒ボク土壌 多湿黒ボク土壌 黒ボク、グライ土壌
褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌 乾性褐色森林土壌(黄褐色) 乾性褐色森林土壌(赤褐色) 褐色森林土壌 褐色森林土壌(黄褐色) 褐色森林土壌(赤褐色) 湿性褐色森林土壌
ポトソル	乾性ポドソル土壌 湿性ポドソル土壌
赤黄色土壌	赤 色 土 壌 黄 色 土 壌
灰色低地土壌	細粒灰色低地土壌 灰色低地土壌 粗粒灰色低地土壌

大土壌群	土 壌 統 群
グライ土	細粒グライ土壌 グライ土壌 粗粒グライ土壌
泥炭土	低地液炭土壌 黒泥土壌

3 - 1 林 地 土 壌

本県の土壌の分布状況を大分類（土壌群）からみると大部分が褐色森林土によって占められているが、白山から大日山を中心とした標高1,000m以上のところでは背陵山地にポドゾル土壌が幅広く顕著にあらわれている。また、この地域の急斜面や能登半島沿岸部の波蝕地形の斜面には岩石地が局所的に点在分布し、第三紀の堆積岩類や火山岩類を基岩とするところでは、地質時代に気候風化されてできた赤黄色土が丘陵性山地の緩斜面や山頂部に点状に散在している。さらに、火山岩類を基岩とするところで海岸に近い丘陵性山地や鉱山跡地周辺の山地では、未熟土壌の分布も多くみられる。黒ボク土壌は、やや緩やかな斜面の小谷頭や段丘面で比較的安定した台地状地形のところに局部的にみられ、深さ50mから1m位のものが多い。グライ土壌は、低い山地の山間低地で水田跡地になっているところや、奥山地の緩凹部や段丘面で排水不良な山地に極めて小面積で点在している。

これら6種類の主要な土壌群は、さらに16の土壌統群に小分類されるが、このうち黒ボク土壌・黄色土壌・砂丘未熟土壌が農地土壌と共通する。

一般に土壌統群は出現傾向や断面形態が基本的には同一傾向を示しているが、本県のように地形や気象条件において地域差の大きいところでは、気象・地形が土壌の性状や生産力に強く影響する地域と地質・母材が強く影響する地域に分けられる。前者の場合は加賀地方のような大起伏山地の多いところで、降雨量や積雪量および堆積様式が土壌生産力に強く影響する場合が多い。後者の場合は能登地方のように起伏の小さい丘陵性山地で、土壌の移動が小さく、加賀地方と比べて安定した緩やかな斜面が多い。また、同一の土壌統群であっても、地質・母材が異なることによって土壌の生成におよぼす影響も異なり、土壌の性状や生産力にも大きく差が出ている。

また、積雪量の多い加賀山間地帯においては、気象的要因として、特に積雪が物理的制限因子として林木の成長を粗害している。このため、相対的には、他の地域と比べて生産力に若干の低下がみられる。

3 - 1 - 1 岩 石 地

白山大日山山地周辺の山腹急斜面や能登半島沿岸部の波蝕地形のところにみられるもので、極度の侵蝕を受けた露岩地または土壌層が極めて薄い岩石、露出地が主体となっており、土地利用の可能性はほ

とんどない。

3-1-2 未熟土

ア 残積性未熟土壌

丘陵性の山地にあらわれ、新第三紀から第四紀の火山岩類および堆積岩類を母材としており、深層風化を受けた堅密な重埴土が多い。表層および下層部の有機質が流亡した欠層土壌でB-C層が主体となっている。主として、中能登丘陵地域や能登内浦丘陵地域の沿岸部に分布しているが、この地域は古い時代から里山で海岸に近いこともあって、製塩、瓦製造が主要な産業として発達したため、これらの燃料として周辺の山地から掠奪的な樹木の採取が盛んに行なわれたところである。このため地力低下が著しく進み、林地がせき悪化した主な原因となっている。また、白山・大日山山地地域で小松市尾小屋鉾山周辺の山地では、鉾毒によって荒廃された林地もみられる。

このような林地では、協力保全の意味から現存する林分の保護育成をはかるため、樹木や土砂の採取などの人為的な土地の変貌を促すような林地の取り扱いを戒めること、また、すでに裸地化している林地にあっては、アカマツと広葉樹（肥料木）との混交林造成による林地のうっ閉を促し、地表面を被覆して土壌の侵蝕防止をはかり地力の保全に努める必要がある。

イ 砂丘未熟土壌

富来町から加賀市までの海岸に沿って、粗砂の堆積した層位の分化のほとんどない未熟土壌が分布する。

海岸砂丘地としてグロマツやニセアカシヤ等の飛砂防止林が造成されているところもあり、表層に腐植を含むが、一般に乾燥したせき悪地で林業的な利用価値は低い。潮害や寒風害の風衝地帯が多く、後背地における農地および産業施設の保全をはかることから、現在する飛砂防止保安林の保護育成と保安林造成をはかることが必要である。

3-1-3 黒ボク土

ア 厚層黒ボク土壌

戸室火山地付近の上位段丘における平坦地や宝達山から石動山周辺に至る間にあらわれ、段丘堆積物を母材としている。表層部は黒褐色から黒色を呈し、深さ50cm以上に達するものである。腐植は多いが、孔隙量は乏しく、カベ状で堅密な層位をなし、理学性はよくない。生産力はやや低いが、スギ・アテの成林は可能である。

イ 黒ボク土壌

標高400m以下の丘陵性山地の段丘面や小谷頭に出現するもので、火山灰または火山灰の混合割合の比較的高い母材に由来する。表層は黒褐色から黒色を呈し、厚さ50cm以下のものである。台地および段丘面に堆積する火山灰を主体とするものは、中能登丘陵地域や能登内浦丘陵地域の平坦地や緩凹部に小面積づつ散在しており、乾燥の影響を受けたカベ状構造が発達し、理学性はそれ

ほどよくない。生産力はやや低く、アカマツ・アテが適木である。また、起伏の大きい山地の山麓面や谷頭緩凹地にみられるような火山灰の混合割合の高い母材のところでは理化学性はよく、生産力もかなり高い。

ウ 淡色黒ボク土壌

戸室山周辺の山頂平坦面や緩凹部に分布するもので、火山灰の混入した淡色黒ボク土壌である。A層は黒褐色ないし暗褐色で一般に厚く、下層部に黒色のA'層が埋没している。

やや堅密なカベ状構造をなし、理化学性は良くない。生産力は低く、人工林としての成林は期待できないが、金沢市の近郊にあることから、むしろ現存する天然林の保護育成をはかり、保健休養林として環境保全に役立てるのが得策と思われる。

3-1-4 褐色森林土

ア 乾性褐色森林土壌

県下でも比較的起伏量の大きい山地を主体に山腹上部から尾根筋にかけて幅広く分布している。乾燥条件が原因して、地表面に堆積する有機物の分解が悪く、腐植含量は乏しい。A層およびB層は浅く、堅密で理化学性は悪く、生産力はいたって低い。しかし標高の低い山地の尾根や凸斜面などで、第三紀から第四紀の堆積岩類を母材とするところでは、腐植も多少深く入っており、アカマツの現存する林分も多い。このことから尾根筋ではアカマツの天然更新、緩斜面ではアカマツの造成も可能である。

イ 乾性褐色森林土壌（黄褐色系）

低山地帯の尾根や山腹上部の凸斜面に比較的幅広く分布するもので、黄色土壌と褐色森林土壌の中間的な要素を占める土壌である。一般に腐植の浸透は悪く表層部は浅い。下層部では色相が10 YR 5/6および10 YR 5/8を呈するもので、褐色森林土壌に比べて生産力は低い。適応する樹種は、現存する広葉樹とアカマツであり、更新方法は天然更新が適切と考えられる。

ウ 乾性褐色森林土壌（赤褐色系）

中能登丘陵地域や能登内浦丘陵地域の尾根筋にわずかに出現するもので、安山岩溶岩および安山岩質火砕岩を基岩にもつ土壌である。堆質で有効土層が浅く、B層の色相は帯赤褐色で理化学性は極度に悪く、褐色森林土では、生産力が最も低い土壌である。

エ 褐色森林土壌

主要な山地の中腹斜面や丘陵地の凹地に最も広く分布する。有効土層は厚く、腐植に富み、A層・B層・C層への推移は漸変し、B層の色相は7.5 YRを中心とするものが多い。生産力は一般的に高いが、分布範囲が広いので、同一の土壌統群であっても堆積様式や水湿状態の違いによって、土壌の性状にかなりの変化があり、生産力におよぼす影響も大きい。一般に造林樹種はスギが適当であるが、起伏量の小さい丘陵性山地では、アテの造林が適当と思われる。

オ 褐色森林土壌（黄褐色系）

丘陵地帯で比較的安定した斜面の下部や凹地に広く分布するもので、褐色森林土壌よりは若干理化学性が劣り、生産力も低い。また、丘陵性の山地では地質、母材が土壌の性状や生産力におよぼす影響が大きく、中能登地域や能登内浦地域で安山岩や安山岩質火砕岩を母材とした土壌では、理化学性が悪く生産力は低い。なお、同一地域内でも砂岩・泥岩を母材としているところでは、有効土層も厚く、理化学性も良好で生産力は安山岩、安山岩質火砕岩を母材としたものより高く、スギやアカマツの成林している林分も多い。

カ 褐色森林土壌（赤褐色系）

褐色森林土壌で下層部に5YR 4/4の色相を中心にもつ赤褐色のもので、安山岩および同質火砕岩を母材とした気候風化された土壌である。分布は金沢市戸室山周辺や中能登および奥能登内浦丘陵地域の緩斜面にみられるもので、生産力は褐色森林土壌より若干劣っている。

キ 湿性褐色森林土壌

主要な山地の谷斜面や沢筋の崩積面に細長く分布している。落葉の分解が速やかで、A層からB層にかけて団粒状構造が顕著に発達し、石隙や孔隙量に富み、水湿に恵まれた腐植の多い土壌である。生産力は最も高く従来よりスギの造林地として活用されており、林業的利用価値の高いところである。

3-1-5 ポドゾル

ア 乾性ポドゾル化土壌

標高900m以上の白山・大日山山地を中心とする大起伏山地の稜線部に分布する。寒冷な気候下であって有機物は多く、とくにH層の発達が著しい。A層は溶脱され、色相は灰褐色から淡褐色を呈し、B層は赤褐色の色相で鉄の集積を認める。カベ状構造が発達した埴質な土壌である。土壌生産力は極めて低いが、この地域ではブナ・ミズナラ・その他の広葉樹林がかなり広く分布している。これらの広葉樹林を伐採方法、更新方法など充分な検討をする必要がある。

イ 湿性ポドゾル化土壌

標高1,000m以上の緩斜面や平坦地に出現するもので、寒冷な気候で有機物の分解が進まず、特にH層の発達が著しく、厚さ40cm程度のもが多い。A層は溶脱され、B層には鉄・腐植の集積が帯状に認められ、カベ状構造のもが多い。ブナ・ミズナラの広葉樹林やヒメコマツ・その他の針葉樹林に混じって天然生のスギが部分的にみられるが、スギの人工林を造成することは期待できない。このため、環境保全の意味から現存する林分の天然更新による保護育成が得策である。

3-1-6 赤黄色土

ア 黄色土壌

中能登丘陵地域の緩やかな斜面の上部から尾根筋にかけて分布しており、安山岩および同質火砕

岩を母材とした土壌である。乾燥の影響を強く受けており、腐植の浸透はいくらかみられ、A層では堅果状構造が発達しており、割目が多い。B層は黄橙色で10YR7/8の色相である。堅密で理化学性は劣る。生産力は低く人工林の造成は期待できないが、アカマツの天然更新による造成は可能である。

1 赤色土壌

低山地帯の比較的幅の広い尾根の緩凸面に小面積づつ散在分布している。地質時代の気候風化による赤味の強い土壌が残存したもので、腐植が乏しく埴質な土壌である。生産力は極めて低く、アカマツの天然更新または現存する林分の保護育成をはかるのが得策である。

北 中 外 弘 (石川県林業試験場)

3 - 2 台地の土壌

本県の台地は主に果樹(栗, リンゴ, ブドウ, 煙草等)園で大半は黄色土壌(第三紀層), 黒ボク土壌(洪積層)に分布される。

3 - 2 - 1 加賀, 小松地域

本県の南部に位置し, 加賀市三木, 橋立, 片山津, 山代, 動橋, 矢田野地区は緩波状台地で主として黒ボク土壌(洪積の腐植質土壌)又は黄色土壌(鉍質酸性土壌)よりなる。一部山麓地区に第三紀層土壌(黄色土壌), 海岸線に砂丘地(未熟砂土)が分布している。近年黒ボク土壌(洪積層)地帯では水田転換(基盤整備)が盛んに行われ, その面積500ha以上に及んでいる。

3 - 2 - 2 金沢山麓地域

本地域には金沢市周辺の台地で黒ボク土壌(洪積層)で, 腐植質の富んだ土壌で果樹(リンゴ, 梨)栽培が主として行なわれている。その他小坂, 浅川地区の黄色土壌は強酸性で粘土質の多い土壌で, 標高30~80mの緩傾斜地である。海岸線の安原地区の砂丘(未熟土壌)地に施設園芸並びに野菜栽培が行なわれている。

3 - 2 - 3 河北地域

本地域は黄色土壌(第三紀層)の砂岩系を主体とする土壌が多く, 粘土質が少なく, 主として建築材料に利用され生産性に乏しく標高10~20mで4~5°の波状傾斜地が多い。畑地は小面積(自給菜園)で各地に点在して栽培される。海岸線の内灘, 高松の砂丘地が拡がり, 全層砂土で各種養分の欠乏地で主に果樹, 野菜栽培が行なわれている。

3-2-4 羽咋, 七尾, 鹿島地域

本地域は黄色土壌(第三紀層)の重粘な土壌で一部砂岩系で片麻岩を母材とする土壌で, 標高40~60mの傾斜地を有する波状台地で細表(分布し, 作土10~30cmで下層重粘な土壌又は石礫を有する地帯で, 羽咋, 高松地区の海岸線に未熟土壌(砂丘地)が分布し, 全般に塩基欠乏土壌で強酸性で腐植質の乏しい土壌で生産性中位である。

3-2-5 鳳至, 珠洲山間地域

本地域は黄色土壌(第三紀層)の輝石安山岩, 泥岩を母材とする丘陵地で, 標高100~200m前後で重粘な土壌で全般に腐植, 微量要素の欠乏土壌で有効土層が浅いのが特徴である。近年開拓パイロット事業により開墾, 開畑が進行し, 現在までに1000haに及んでいる。奥能登開発に拍車をかけている。

3-3 低地の土壌

3-3-1 加賀, 平坦地域

大聖寺川, 動橋川によって沖積された地区と, 木場, 柴山, 今江瀉の三湖が干拓事業によって開田され, 全般にグライ土壌で排水不良で還元による根腐れのため, 生産性が中位で農作業に困難性があり, 近年加賀市は圃場整備事業によって除々に乾田化を計画している。その他山間の水田は黄色土(第三紀層)で重粘な土壌で生産性に乏しい土壌である。

3-3-2 小松, 能美沖積地域

加賀三湖附近は砂壤土で粗粒グライ土壌, 生産性は中以上である。梯川流域は壤土~植壤土となってグライ土壌に属し, 下流地帯は細粒グライ土壌となり, 伏流水の影響により強湿田となり, 梯川上流地域は尾小座鉸山の廃坑附近で重金属汚染地帯で多湿黒ボク土壌に属する。

手取川流域は過去河川の氾濫の被害を受けて耕土が浅く10~15cm以下が礫層(ザル田)で粗粒灰色低地土壌となり, 水田一帯は漏水が甚しく, 各種養分の欠乏土壌で生産性が中以下で乏しい。近年流水容土事業によって逐時改良されて, 除々に生産をあげている。

3-3-3 石川海辺扇状地域

本地域は過去において手取川の氾濫によって堆積され, 通称手取川扇状地の沖積土壌が主体である。土壌は灰色低地土壌, 壤土~植壤土より構成され, 本県の低地のうちもっとも広面積をしめるものであり, 手取川流域の農地は砂壤土で一部河床となった。作土直下石礫層が散在し, 海岸線には砂丘の影響で砂土で粗粒グライ土壌を形成し, 全般に手取扇状地は石英粗面岩, 花崗岩の風化により堆積されたもので各種養分の欠乏土壌が多く分布され, 生産性は環境条件に恵まれ生産性の高い穀倉地帯である。

3-3-4 金沢海辺地域

本地域は灰色低地土壌、グライ土壌、黒ボク土壌に分けられる。灰色低地、黒ボク土壌は犀川、浅野川上流地域の水田、畑に分布され、また金沢市街化区域である。正常な農耕生産を期待することが出来ない。

下流地域はグライ土壌（細粒グライ土壌）に属し、水稻単作で生産性が非常に高く、穀倉地帯である。

3-3-5 河北沖積地域

河北瀉に面した平坦地域と山間地に分けられ、瀉附近の水田は細粒グライ土壌、地味が肥え、耕土が深く、土性は植壤土～植土で生産性が高い、また一部に河川の影響により、粗粒グライ土壌が分布し、山間地の水田は灰色低地土壌で重粘な土壌が分布され生産性に乏しい。

近年河北瀉干拓事業により各河川の改修工事により、浮土の容土によって乾田化に進行している。また河北瀉は昭和45年に干陸され1200haの面積を有し、現在干拓工事が進められ、将来50年に入植され略農、野菜団地として計画されている。

3-3-6 羽咋中部地域

本地域は能登中部地区の南部に位置し、押水平野は宝達山系の花崗岩、片麻岩を母材とする河成沖積層で灰色低地土壌に属し、一部黒ボク土壌が点在し、羽咋平野は北部に位置しグライ土壌が主体となっている。邑知が干拓事業によって水田化され、いずれも生産性の高い地帯である。富来、高浜地域は海岸線に面し、粗粒灰色低地土壌で各種養分の乏しい水田で生産性が近い地帯である。

3-3-7 七尾、鹿島海辺湿田地域

邑知溝地帯と七尾湾に面した湿田（グライ土壌）と山間地帯と能登島の水田に分けられる。邑知溝の東南部は片麻岩の影響を受けて粗粒グライ土壌と粗粒灰色土壌に分布し、下層礫層を有する水田が多い、全般に生産性の低い地帯である。七尾湾に面した水田はグライ土壌で強湿田で6～7月に海水により塩害と根腐れにより生産性が乏しいので正常な農耕生産が期待出来ない。

3-3-8 珠洲、鳳至地域

本地域は中小河川によって堆積された沖積層は黄色土、黒ボク土壌を母材とし、耕地の分布は山間狭地に小面積が点在し、主に細粒グライ土壌、細粒灰色低地土壌に分布され、農耕の生産は概して中位である。また畑では黄色土壌が点在している。

西川 庸一、金田 博（石川県農業試験場）

4 土地利用現況等の概要

4-1 総 説

石川県の土地利用現況を概観すると、森林面積が石川県全体の70%を占めており、耕地面積およびその他の利用面積は30%で大部分が林地として利用されている。さらに、地形的な環境条件について大きくわけてみると邑知低地帯地域を境に加賀地方と能登地方とに区分され、それぞれ異なった特色をもっている。

加賀地方では白山(標高2,702m)、大日山(標高1,369m)を中心とする急峻な山岳地形から、これら山地に源を発する主要な河川によって形成された扇状地が加賀平野として広範囲にわたり、水田や畑地に利用されている。能登地方では一般に丘陵地帯が多く、比較的単調な地形である。耕地では、谷合の山間低地や台地状地形の平坦地および緩斜地に小規模の面積で複雑に入り込んでおり、加賀地方に比べてかなり細かく分布しているのが特色である。

このように、加賀地方と能登地方は土地利用がそれぞれ異なった特色をもっているが、これは地形的条件のほか地理的条件、古くからの社会的・経済的条件の違いに負うところも大きいと思われる。

なお、最近の交通網の発達にもなって平野部や里山地帯を中心に工業、観光、宅地産業などの開発が著しく、能登・加賀共通して土地の急激な変貌をきたしているところが多くみられる。

林地を概括すると広葉樹林を主とする天然生林が大半を占めており、人工林は少なく、その割合は県下全民有林の30%程度である。林地を大別すると標高400m以上の山間地帯とそれ以下の低緩地帯に分けられる。前者は多雪地帯として気候的条件が厳しく、造林種々もスギに限られ、植栽範囲は主として谷合の狭隘な地域に限られている。その他の大部分はブナ・ミズナラを主とする経済性の低い広葉樹林によって占められている。このような地域は主に手取川流域を中心とした加賀地方の主要な河川で、重要水源林地帯として水源かん養林や土砂流出防備林などの保安林が多く、又、白山国立公園や大日山県立自然公園なども含まれており、森林のもつ経済的機能のほか一般に公益性の高いところである。

一方、標高400m以下の低緩地帯は加賀丘陵地域から能登半島一帯で、積雪量も少なく温暖な気候条件である。

人工林は山間地帯に比べるとはるかに多く、特に能登地方に多い。造林樹種はスギが最も多いが、輪島市・門前町・穴水町を中心とした地域では、昔からアテ林業地帯として択伐林施業が盛んである。特にアテはスギに比べて成長は緩慢であるが、造林に対する適応性は広く、その伐質価値は一般に高く評価されており、能登地方一帯に広く造林されている。また、この地方はアカマツの天然生林が多く、とくに中能登丘陵地域や能登内浦丘陵地域に広く分布し、森林蓄積量も多い。このうちでも能登内浦丘陵地域では副産物としてマツタケの生産も多く県内の消費地へ出荷されている。さらにこの地域で沿岸部のところでは、昔から製塩や瓦製造のための燃料に利用されていたことがあり、このために荒廃した林地が広くみられ、これらの復旧事業として治山工法やアカマツと肥料木の混植、施肥などの改良事業が

昭和初期から行なわれていた。また本県は加賀市から能登半島にかけて海岸線が長く、砂丘地も多いことからクロマツやニセアカシヤの人工林も多い。

森林概況は以上のとおりであるが、最近の著しい土地開発に伴ない自然環境の保全や水資源の確保などの公益的機能に対する要請が高まっており、森林のもつ経済的機能と公益的機能の調和した森林施策のあり方がいっそう重大な課題となってくることであろう。

石川県の農耕平（耕地面積）は県内総面積の約15%に相当する63,402haであって、このうち水田が53,352ha、畑6,917ha、牧草畑830ha、樹園地（果樹、茶、桑）2,302ha、その他自給茶園として利用されている。

水田はその大部分で84%を占め、普通畑10.9%、樹園地3.6%となり、水稻の作付比率は早生種の作付では8.6%、最高を示し、次いで中生、晩生種の順で、早揚示の中心地で加賀地域が殆んど、ホウネンワセ、越略早生が大半を占めている。能登地域は早生種が50%内外で中生、晩生種が多く、全般に第二種兼業農家が過半数を示している。

普通畑は従来自給菜園程度で県内の自給度が少なく、県外産への依存が強い。これは農業県でありながら北陸特有の気象条件などにわざわざいし、野菜栽培が低調であった。近年生産調整にともない水田転作が実施され、現在までの作付面積が1,400haに過ぎない。その他樹園地ではブドウ440ha、リンゴ186ha、ナシ130ha、柿443ha、クリ668ha、桑園259ha、茶園107haとなっている。

石川県の市街地域は金沢市、小松市、七尾市の近郊は住宅化、工業化にともない、近郊の野菜栽培地が安原海岸、奥能登の果樹、草地の開発により、土地利用区分が大きく変化している。将来、米作一本の専業農家が過半数を占めていたが近年第二種農家が急激に増加し、生産意欲が減退しつつある。したがって、それに対応するため、住民の生活環境保全のために積極的に自然保護、称地帯の維持、が必要にせまられている。また土地の生産基盤、土地を守る運動まで進展している現状である。

4-2 各 説

4-2-1 白山、大日山山地地域

標高400m以上の広範囲な地域で、地形および気象的条件の最も厳しく制約された環境にあって人口密度も低く、山村地帯で農地はきわめて少ない。大部分が山林で褐色森林土壌によって占められ、土壌は良好であるが、手取川流域の白山から大日山山麓部では造林木の幼令時における雪害が著しいため、生産力はかなり低い。

本県における人工林の造成は標高800m位までが可能であり、近年、分収造林などによる大規模な拡大造林がこの地域で進められているが、多雪地帯であるがため段階工・保残帯造林や春先に行なわれる雪害で倒れたものの木起しなど育林上特有な作業が加わり、積雪地帯造林の推進には大きな障害となっている。このためとくに、最近における山村の過疎化による労務不足や賃金の高騰などによって造林

意欲が減退するなど個人的な林業経営は次第に困難となっており、今後は森林組合などを中心にした広域的組織的な労務管理が必要になってくるであろう。そこでこのような状況に対応できるような組織の強化をはかり、さらに雪害に対する育林技術の改善が望まれる。

そのほか、この地域はナメコ、シイタケ、ワサビなどの生産も従来から行なわれていることから、これら山村の副次的な収入源となる特殊林産物など多角的な林業経営を行なって、山村経済の安定をはかっていくべき地域である。

また、標高800m以上の高冷な地帯においては大部分がブナ・ミズナラ・その他の広葉樹林やヒメコマツ・アオモリ・トドマツなどの針葉樹林が広く分布している。この地域は主として水源かん養林や土砂流出防備林などの保安林が多く、また、白山国立公園やその他の風致地区も含まれていることから、水資源の確保及び観光資源など環境保全の意味から現存する林分の保護育成に重点をおくべきところである。

4-2-2 加賀丘陵地域

加賀平野部の後背地であって、第三紀から第四紀の火山岩と堆積岩を基岩とする丘陵山地である。気候も温暖で雪積量は前地域に比べて少ないが、一般に湿りけの多いべた雪で、このため、雪害による林木の幹折れが多く、育林上問題となっている山地である。土壌は手取扇状地を境に南部地域と北部地域に分けられる。南部地域では大部分が黄褐色の褐色森林土壌で、生産力は2等級がこの地域の大半を占めている。林地は一般にスギの造林が多く、小松市や山中町周辺ではヒュウスギやイケダスギなどの造林が盛んである。また平野部と境する台地状の山地では広葉樹林に混じってアカマツの天然林も広く分布しており森林蓄積量も多い。今後のアカマツの天然更新による施業がかなり期待される場所である。その他ナラ・クリなどの広葉樹が広く分布しているが、シイタケの原木として利用されている程度である。

また、最近の著しい土地開発ともなって、平野部に接する丘陵地では放牧場・住宅地・観光施設・道路などの建設が著しく、林地の転用が激しくなっている。

一方、北部地域では林地の大部分が乾性の褐色森林土壌で、生産力は3等級のものが大半を占めており、一般に地位は低い。

津幡町周辺の山地ではスギの造林が盛んで、とくにこの地域はカワイダニスギやボカスギの造林が行なわれており、生育は良好であるが雪害に対しては比較的弱い。その他宇ノ気町から高松町にかけて、アカマツの天然生林が広く分布している。

金沢市近郊の山地では砂質な土壌であるため、大部分が広葉樹林で富樫丘陵地の主要な尾根にはアカマツの天然生林が広く分布しているが、斜面は土壌の生産力が比較的高いので土砂の崩落を防止するためあってモウソウ竹林が造成されている。また、この地域はタケノコの産地となっている。スギの造林もこの地域では多いが、一般に谷合の下部斜面に小面積で造林されている。また、戸室山周辺の山地では赤色土壌や赤褐色の褐色森林土壌が分布しており、一般に生産力は低い。現在、天然生広葉樹の低

木林となっているが、林木の生産には期待のもてない土地である。むしろ伐採を制限して天然生林の造成をはかり、レクリエーションの場として活用するのが得策であろう。

さらに、金沢市近郊と津幡町の近郊には健民公園・森林公園が造成され、県民の憩の場として広く親しまれている。

4-2-3 宝達山山地地域

宝達山から石動山を背陵に南北に連なる壮年期地形で、比較的起伏の大きい山地である。主に新第三紀の堆積岩類を母材としており、また、宝達山および石動山の周辺では先ジュラ紀の花崗岩、片麻岩類もみられる。林地土壌は大部分が褐色森林土壌で邑知低地帯地域に接する丘陵地には細長く黄褐色系の褐色森林土壌が広がっている。さらに、この地域の山頂付近や中腹部の台地状の地形には、火山灰質土壌が50cm前後の深さで堆積している。土壌生産力は1等級から3等級におよび、全体的にみると能登地方では比較的生産力の高い地域である。土地利用は主要な谷間が農地として水田に利用されているほかは、大部分が林地である。主にスギの造林が行なわれており、カワイダニスギが広く造林されている。またこのほかにアテの造林もいくらか行なわれており、生育は良好である。この地域でも、近年拡大造林による林種転換が広く行なわれているが、大部分はスギを主体とした造林地である。アテについても適地は広く、しかも市場性が一般に高いことから、今後アテの拡大造林を積極的に推進していくべき地域である。

4-2-4 中能登丘陵地域

邑知低地帯の北部に広がる丘陵性の山地で、地質は第三紀から第四紀の火山岩および堆積岩類である。林地は大半が褐色森林土壌で黄褐色のものが多い。一般にこの地域においては土壌は浅いが、堆積岩類のところでは土壌は膨軟で、生産力は比較的高く、スギやアテ・モミなどが良好な生育を示している。しかし同一の地域でも、火山岩地域では土壌は浅く、下層部に堅密な不透水層をもっている場合が多く、生産力は低い。主にアカマツの天然生林やクリ・コナラなどの広葉樹が多いことから、アカマツの天然更新に期待するところである。そのほか、この地域の山頂平坦面や緩斜面のところには赤色土壌や黄色土壌が散在しており、土壌生産力は低く、主にアカマツの天然生林やクリ・コナラ・ツツジなどの灌木類が分布している。

また、羽咋市の柴垣周辺から志賀町の五里峠をへて富来町に至る沿岸部一帯は残積性の未熟土壌や褐色森林土壌で赤褐色のものが広く分布しており、生産力は極度に低く、一般にせき悪林地帯と言われているところである。この地域は昔から住民の生活基盤として製塩、瓦製造などの燃料に利用するため付近の山地から長年月におよぶ落葉・落枝の採取が頻繁に行なわれていたことから林地の荒廃が極度に進んでいったところである。林況は、主にアカマツの天然生林や低灌木が多いところで、特に未熟土壌のところでは奇形状のものが多い。昭和初期に治山工法や肥料木の混植や施肥などの改良復旧事業が行なわれたところもあるが、林業的利用は不可能である。またこの地域は能登半島国定公園としても知られ

ており、観光資源として公益性をもっていることから、現存する林分の保護育成をはかって、環境保全に重点をおくべきところといえる。

4-2-5 能登内浦丘陵地域

穴水町から珠州市に至る内浦沿岸部地域で、地形は能登丘陵地域と同様な台地上の地形である。山間低地はほとんどが稲作を主体とした水田に利用されている。さらに、台地上の平坦面や緩斜面のところでも広く開墾され畑作物の栽培が行なわれているが、特にこの地域の二子山周辺の山地では、国営パイロット事業として大規模な林地が農地として開墾され、クリ・モモなどの果樹園や桑園・牧草などの栽培が行なわれている。また、林地は大部分が黄褐色の褐色森林土壌であるが、穴水町から能都町にかけて黄色土壌や赤褐色の褐色森林土壌が含まれている。林相はアカマツの天然生林が主体で、土壌の生産力は一般に低い。谷合の緩斜面や谷筋にスギやアテの良好な林地が小規模な面積で分布している。そのほかはナラやクリなどの広葉樹林がほとんどで、シイタケの原木や薪炭林としてわずかに利用されている。

この地域で穴水町の沿岸部から能都町の周辺にかけての山地では昔からの製塩や瓦製造のための燃料や住民の日常生活に用いる燃料として掠奪的な林木の採取が頻繁に行なわれ、これが原因で荒廃した林地が多く、未熟土壌として生産力は極度に低い。

また、内浦町から珠州市にかけての山地ではアカマツの天然生林が広く分布しており、その蓄積量も多い。土壌生産力は2～3等級であるが、特殊林産物としてマツタケが生産されている。この地域でのマツタケの生産量は低下しているが、生産の歴史は古く、本県最大の生産地である。このため、現存するアカマツ天然生林の保護育成とこれらに対する積極的な施策が望まれるところである。

このほか、奥能登地域一帯が能登国定公園として特に内浦の風光明媚な景観が県外の観光客に広く親しまれている。

4-2-6 宝立山・高洲山山地地域

日本海に突き出た能登半島の先端部にあつて、起伏量の大きい山地で開析された地形である。さらに、宝立山や高洲山・佐比野山などからなり、北側に偏在した位置にあるが、気候的条件からこれらの山地を境に南東部と北東部に分けられる。また地質は、主に新第三紀の堆積岩および安山岩・安山岩質火砕岩であるが、これらに石英安山岩や玄武岩・凝灰岩などが複雑に入り込んでいる地域である。

まず、主要な山地に囲まれた南東部の山間地区についてみると、平均気温は12℃前後でやや低く、積雪量も80cmから150cmとかなり厳しい内陸的な気候下にある。林地土壌は、主に褐色森林土壌と黄褐色の褐色森林土壌がほとんどであり、土壌生産力も2等級および3等級のものが大部分であつて、比較的生产力が高い。

また、主要な谷の低地や緩斜面は柵田として水田に利用されているほか、林地はスギ、アテの人工林が多く、とくに、輪島市三井町や門前町・穴水町などはアテ林業地帯として広く知られており、択伐林

施業が盛んである。

さらに、アテはスギに比べて緩慢な成長を示すが、造林に対する適応性が広く、しかも材質がよいため市場性に有利な点もあることから、近年、アテの造林がこの地帯を中心に急激に拡大してきている。

しかし、アテはスギのように苗木の大量生産は困難で、供給不足のため成苗は相当高価に取り引きされている。さし穂の不足がアテの拡大造林を推進するうえにおいて最も大きな障害となっており、これらの問題解決が今後の大きな課題である。

天然生林は、アカマツやコナラ・クリ・その他の広葉樹林でシイタケの原木林や薪炭林として利用されている。しかし、最近になって、珠州市や柳田村周辺では過去の薪炭林経営から人工林種転換が行なわれ人工林が年々増加している。

一方、北西部の北浦沿岸地域についてみると、気温は平均13℃前後で、積雪量は60cm以下であるが、日本海の潮風を強く受けていることから風衝地となっているところも多い。

林地土壌は主に褐色森林土壌と黄褐色系の褐色森林土壌が大半を占めており、土壌生産力も2等級から3等級のものが多く、スギ・アテの人工林が多くみられる。また、珠州市や門前町の沿岸部にはクロマツの天然生林が広く分布しているが、そのほかの大部分がクリ・コナラ・その他の広葉樹林として広くみられる。また、輪島塗の漆器原料としてウルシの栽培も行なわれている。

なお、この地域一帯は地すべり地帯で、宿命的な災害の危険性にみまわれており、これに対する防止対策事業が進められている。また、この地域における沿岸部の景勝地は固定公園として広く知られている。

4-2-7 低地（平野地域）

低地は農耕地、住居地、工業地が大部分を占め、各河川の沖積作用によってできた平野が主体となるが、その代表的なものが次のとおり各平野部の利用状況を述べる。

ア 加賀平野地域

石川県の南部の平野で、東は白山を中心に、西は日本海沿いの砂丘に分布し、手取川扇状地を中心にこれに犀川、浅野川の沖積平野からなる河北平野と南に大聖寺川、梯川の沖積平野、小松平野の三つに分かれている。

海岸砂丘の形成によってその内側に河北瀉、加賀三湖（柴山、木場、今江瀉）が形成されていたが、いずれも干拓事業が行なわれ、水田、畑に転換された。

手取川扇状地は鶴来町を扇の要として手取川をつくった半経約12kmの大扇状地で、北東には川支流の伏見川、西南には梯川附近で境され約13,000haの面積である。鶴来町附近で手取川の水をとり入れた七ヶ用水は手取川右岸を綱の目のように流れ、左岸の宮竹用水と合せて13,000haの水田を灌漑し、代表的な早場米地帯である。

河北平野は河北瀉をとりまき、犀川、浅野川、森本川などの沖積した低湿地帯で湿田が多い、北部に内灘砂丘があり、砂丘地農業としてブドウ、西瓜、長芋などを中心に発展している。河北瀉湖

面に1,200ha干陸され、略農、野菜団地の作成工事が盛んに行なわれている。小松平野は梯川および今江・柴山・木場瀧の沿岸の平野は米の単作地帯となり、最近干拓事業により加賀三湖の面積が1/3に縮小されている。

大聖寺川流域の江沼盆地には低湿地の水田が分布し、近年基盤整備により大型圃場となり乾田化に伴い、水田、畑作栽培が実施されるようになった。また一部洪積台地に施設園芸（故爪、トマト、茄子）の栽培が行われている。

イ 邑知低地地域

羽咋郡以北では宝達山脈と眉丈山の断がい層との間を占める邑知溝平野で基盤は極めて深く、以前にさく井のため100m以上のボーリングしたが某盤まで達しなかった程である。本地帯を流れる御抜川、二宮川、長曾川、久江川等の運ぶ土砂の堆積した河成沖積層からなり殆んど半湿～湿田で水稻単作が主体で、其の他副業として機械業が盛んに行なわれている。

ウ 中能登丘陵地域

能登半島の中央部に位置し、七尾湾に注ぐ熊木川、日用川、二宮川の流域と、七尾西湾に面する海岸線、日本海上面する高浜川、富来川の流域には低湿地の水田地帯で常時海水の影響により塩害を受けている。一部台地には、桑、柿、煙草等が栽培され、附近一帯は経営規模が小さいため零細農家が多い。

エ 能登内浦丘陵地域

奥能登半島の富山湾に面する内浦海岸線並びに若山川、松波川、九里川、小又川、山田川、鶉飼川などの樹枝状に発達し、その流域に小面積の平坦な水田が分布されている。山間台地に煙草栽培は開拓パイロット事業によって進展している。特に内浦地区はビニールハウスで半、促成栽培が行なわれている。

ウ 宝立山、高洲山低地地域

奥能登半島の日本海に面する山岳丘陵地帯で水田は高原状の丘陵が日本海に傾斜して下る斜面を利用して開かれ、区画整理が行われな小面積の不整形で階段状をなしており、典型的なものは白米の千枚田と云われて観光的に保存されている。平坦地には河原田川、町野川、鳳至川、大谷川などの樹枝状の発達し、その流域に小面積の水田が分布している。山間台地にはクリ・牧草栽培が開拓パイロット事業により開発し、将来略農型、果樹專業型農業に進展している。

西川 庸一、金田 博（農業試験場）

北中 外弘（林業試験場）

B 統 計 の 部

1 土地利用現況

1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳

区分 市町村	農 地											草 地		
	水 田					畑					農地計	利用 草地	未利用 草地	草 地 計
	普 通 田			特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹 園 地						
	乾 田	半湿田	湿 田					果樹園	桑園 茶園	計				
石川県	20,429	25,477	7,210	236	53,352	6,917	830	1,958	345	2,304	63,402	-	4,735	4,735
加 賀	17,664	9,860	2,207	211	29,942	2,413	192	1,099	103	1,202	33,749	-	1,952	1,952
能 登	2,765	15,617	5,003	25	23,410	4,504	638	859	242	1,101	29,653	-	2,783	2,783
加賀南部	5,349	5,977	555	126	12,007	907	130	243	63	306	13,350	-	290	290
加賀市	1,188	2,215	343	5	3,751	313	55	161	30	191	4,310	-	136	136
小松市	2,004	2,615	41	119	4,779	477	60	72	32	104	5,420	-	23	23
山中町	-	183	-	2	185	25	-	7	-	7	217	-	110	110
寺井町	270	464	-	-	734	37	-	1	-	1	772	-	-	-
根上町	473	267	-	-	740	19	-	-	-	-	759	-	10	10
辰口町	713	192	-	-	905	32	15	2	1	3	955	-	11	11
川北村	701	41	171	-	913	4	-	-	-	-	917	-	-	-
加賀北部	12,315	3,883	1,652	85	17,935	1,506	62	856	40	896	20,399	-	1,662	1,662
金沢市	4,634	1,811	192	77	6,714	630	50	502	4	506	7,900	-	1,042	1,042
松任市	4,258	202	-	-	4,461	59	-	20	-	20	4,540	-	-	-
美川町	179	54	164	-	397	12	-	-	-	-	409	-	11	11
鶴来町	1,035	-	-	-	1,035	44	3	17	1	18	1,100	-	20	20
野々市町	861	-	-	-	861	1	-	-	-	-	862	-	-	-
河内村	70	12	-	-	82	29	-	2	-	2	113	-	62	62
吉野谷村	67	44	-	-	111	32	-	2	-	2	145	-	39	39
鳥越村	485	80	-	-	565	86	6	4	2	6	663	-	44	44
尾口村	-	49	-	-	49	17	-	1	-	1	67	-	35	35
白峰村	-	7	-	-	7	17	-	-	28	28	52	-	261	261
津幡町	508	973	884	5	2,370	186	2	29	3	32	2,590	-	99	99
高松町	88	237	-	-	325	86	-	195	-	195	606	-	16	16
七塚町	-	-	-	-	-	117	-	50	-	50	167	-	1	1
守ノ気町	130	414	240	2	786	132	1	28	2	30	949	-	32	32
内灘町	-	-	172	-	172	58	-	6	-	6	236	-	-	-

単位：h a

林						地						宅地	公共用地その他	合計
人工林			天然林			竹	未立木地			除地	林地			
針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計		伐採跡地	更新困難地	計					
64,011	1,424	65,435	21,886	175,411	197,297	2,341	3,304	1,409	4,713	7,356	277,142	-	74,249	419,528
21,575	1,216	22,791	4,025	102,894	106,919	1,095	1,419	1,409	2,828	7,356	140,989	-	42,339	219,029
42,436	208	42,644	17,861	72,517	90,378	1,246	1,885	-	1,885	-	136,153	-	31,910	198,335
9,480	144	9,624	3,058	38,205	41,263	156	667	-	667	152	51,862	-	12,462	77,964
1,988	93	2,081	981	3,794	4,775	61	53	-	53	88	7,058	-	3,697	15,201
4,157	47	4,204	1,446	19,926	21,372	63	509	-	509	50	26,198	-	5,831	37,472
2,429	3	2,432	96	12,053	12,149	22	81	-	81	14	14,698	-	436	15,461
6	-	6	27	50	77	22	0	-	0	-	85	-	474	1,331
60	0	60	3	2	5	0	7	-	7	-	72	-	533	1,374
840	1	841	505	2,380	2,885	8	17	-	17	-	3,751	-	898	5,615
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	593	1,510
12,095	1,072	13,167	967	64,689	65,656	939	752	1,409	2,161	7,204	89,127	-	29,877	141,065
3,187	520	3,707	248	22,480	22,728	747	380	-	380	241	27,803	-	9,186	45,931
21	13	34	-	-	-	1	-	-	-	-	35	-	1,400	5,975
47	5	52	-	-	-	-	3	-	3	-	55	-	492	967
757	1	758	36	1,012	1,048	47	18	-	18	-	1,871	-	552	3,543
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	483	1,345
462	1	463	14	5,971	5,985	2	18	-	18	262	6,730	-	554	7,459
505	1	506	4	8,331	8,335	3	7	-	7	2,074	10,925	-	3,149	14,258
959	1	960	11	5,104	5,115	2	31	-	31	-	6,108	-	643	7,458
834	22	856	1	5,335	5,336	4	30	-	30	3,126	9,352	-	4,223	13,677
3,261	48	3,309	112	11,500	11,612	-	210	1,409	1,619	1,501	18,041	-	3,870	22,224
1,355	220	1,575	126	3,638	3,764	107	43	-	43	-	5,489	-	2,476	10,654
553	58	611	218	483	701	8	10	-	10	-	1,330	-	746	2,698
33	52	85	3	1	4	1	0	-	0	-	90	-	353	611
104	104	208	194	828	1,022	15	2	-	2	-	1,247	-	762	2,990
17	26	43	-	6	6	2	-	-	-	-	51	-	988	1,275

区分 市町村	農 地											草 地		
	水 田					畑					農地計	利用 草地	未 利用 草地	草 地 計
	普 通 田			特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹 園 地						
	乾 田	半湿田	湿田					果樹園	桑園 茶園	計				
能登南部	1,124	10,088	3,306	14	14,532	2,035	153	252	67	319	17,039	-	820	820
七尾市	-	1,630	646	4	2,280	342	14	13	1	14	2,650	-	109	109
羽咋市	83	2,419	240	1	2,743	200	12	35	-	35	2,990	-	97	97
富来町	138	803	197	1	1,139	441	12	3	5	8	1,600	-	151	151
志雄町	-	932	-	1	933	83	5	59	-	59	1,080	-	121	121
志賀町	334	702	912	1	1,949	340	-	80	21	101	2,390	-	209	209
押水町	544	306	65	1	916	107	34	32	1	33	1,090	-	91	91
田鶴浜町	-	160	476	1	637	60	-	-	1	1	698	-	3	3
島屋町	-	532	108	-	640	30	46	-	-	-	716	-	6	6
中島町	-	976	173	1	1,150	129	10	8	23	31	1,320	-	1	1
鹿島町	-	912	207	2	1,121	113	10	4	2	6	1,250	-	16	16
能登島町	25	389	240	-	654	172	10	6	13	19	855	-	11	11
鹿西町	-	327	42	1	370	18	-	12	-	12	400	-	5	5
能登北部	1,641	5,529	1,697	11	8,878	2,469	485	607	175	782	12,614	-	1,963	1,963
輪島市	145	1,001	704	3	1,853	473	30	17	77	94	2,450	-	623	623
珠洲市	399	1,563	165	5	2,132	805	39	34	20	54	3,030	-	318	318
能都町	257	1,131	142	-	1,530	174	163	350	23	373	2,240	-	27	27
穴水町	44	746	261	-	1,051	460	28	23	8	31	1,570	-	17	17
門前町	533	71	293	-	897	179	177	143	24	167	1,420	-	870	870
柳田村	205	708	-	1	914	90	17	28	1	29	1,050	-	84	84
内浦町	58	309	132	2	501	288	31	12	22	34	854	-	24	24
河北潟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

林 地											宅 地	公 共 用 地 其 他	合 計	
人 工 林			天 然 林			竹 地	未 立 木 地			除 地				林 地 計
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計		伐 採 跡 地	更 新 計	困 難 地					
17,982	134	18,116	9,101	23,353	32,454	652	714	-	714	-	51,936	-	15,169	84,964
3,212	10	3,222	909	3,605	4,514	366	357	-	357	-	8,459	-	3,184	14,402
655	17	672	901	1,320	2,221	29	23	-	23	-	2,945	-	2,074	8,106
2,983	29	3,012	1,445	4,438	5,883	78	60	-	60	-	9,033	-	1,631	12,415
1,376	28	1,404	369	1,859	2,228	40	23	-	23	-	3,695	-	1,015	5,911
2,060	5	2,065	2,155	2,762	4,917	40	83	-	83	-	7,105	-	2,548	12,252
1,110	33	1,143	394	1,589	1,983	12	56	-	56	-	3,194	-	998	5,373
941	-	941	466	307	773	11	6	-	6	-	1,731	-	562	2,994
379	0	379	179	971	1,150	10	5	-	5	-	1,544	-	392	2,658
2,669	3	2,672	771	4,100	4,871	18	51	-	51	-	7,612	-	953	9,886
1,706	4	1,710	149	915	1,064	8	45	-	45	-	2,827	-	697	4,790
615	5	620	1,176	1,196	2,372	30	5	-	5	-	3,027	-	852	4,745
276	0	276	187	291	478	10	-	-	-	-	764	-	263	1,432
24,454	74	24,528	8,760	49,164	57,924	594	1,171	-	1,171	-	84,217	-	14,577	113,371
8,436	29	8,465	401	10,850	11,251	126	389	-	389	-	20,231	-	3,814	27,118
2,491	14	2,505	3,659	11,654	15,313	89	186	-	186	-	18,093	-	3,282	24,723
2,149	1	2,150	1,130	5,658	6,788	21	80	-	80	-	9,039	-	248	11,554
4,846	6	4,852	1,853	7,017	8,870	31	116	-	116	-	13,869	-	2,832	18,288
5,019	22	5,041	339	5,077	5,416	306	337	-	337	-	11,100	-	2,401	15,791
1,147	2	1,149	147	7,076	7,223	5	39	-	39	-	8,416	-	952	10,502
366	-	366	1,231	1,832	3,063	16	24	-	24	-	3,469	-	1,048	5,395
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,164	2,164

1-2 D. I. D およびね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

区分 市	市街地の内訳									
	商業区	工業区			住宅地	その他				市街地計
		重工業地	軽工業地	計		漁業区	運輸区	公共区	計	
金沢市	5	7	12	19	25	-	-	-	-	49
合計	5	7	12	19	25	-	-	-	-	49

単位：km²

市街地外の内訳							合計
農地	草地	林地	宅地	公共用地	その他	計	
79	10	278	16	9	18	410	459
79	10	278	16	9	18	410	459

昭和48年1月 市都市計画課調

2 自然的土地条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

単位：Km²

斜斜区分 市町村名	0°～3°	3°～8°	8°～15°	15°～ 20°	20°～ 30°	30°～ 40°	40°	湖沼	合計
金沢市	119	10	12	54	134	130	—	—	459
七尾市	25	5	37	20	47	10	—	—	144
小松市	91	1	15	35	137	95	—	—	375
輪島市	16	—	25	55	163	12	—	—	271
珠洲市	25	13	53	45	110	1	—	—	247
加賀市	66	12	7	29	23	13	—	2	152
羽咋市	43	3	11	6	14	3	—	1	81
松任市	60	—	—	—	—	—	—	—	60
市部計	445	44	160	244	628	264	—	4	1,789
山中町	3	—	—	—	78	74	—	—	155
江沼郡計	3	—	—	—	78	74	—	—	155
根上町	14	0	—	—	—	—	—	—	14
寺井町	12	0	1	—	—	—	—	—	13
辰口町	13	—	11	4	17	11	—	—	56
川北村	15	—	—	—	—	—	—	—	15
能美郡計	54	0	12	4	17	11	—	—	98
美川町	10	0	—	—	—	—	—	—	10
鶴来町	15	2	—	6	2	10	—	—	35
野々市町	13	—	—	—	—	—	—	—	13
河内村	3	1	—	—	4	67	—	—	75
吉野谷村	3	2	1	—	27	95	14	—	142
鳥越村	8	1	—	3	28	35	—	—	75
尾口村	0	1	2	12	29	86	7	—	137

傾斜区分 市町村名	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~ 20°	20°~ 30°	30°~ 40°	40°~	湖沼	合計
白峰村	—	—	0	22	153	45	2	—	222
石川郡計	52	7	3	43	243	338	23	—	709
津幡町	19	1	19	24	42	1	—	—	106
高松町	10	5	0	4	7	1	—	—	27
七塚町	2	4	—	—	—	—	—	—	6
宇ノ気町	10	4	—	13	3	—	—	—	30
内灘町	4	9	—	—	—	—	—	—	13
河北郡計	45	23	19	41	52	2	—	—	182
富来町	15	4	32	18	54	1	—	—	124
志雄町	9	2	2	13	33	—	—	—	59
志賀町	26	7	35	30	25	—	—	—	123
押水町	17	5	2	5	25	—	—	—	54
羽咋郡計	67	18	71	66	137	1	—	—	360
田鶴浜町	7	2	4	6	11	—	—	—	30
鳥屋町	9	0	1	4	13	0	—	—	27
中島町	9	—	14	31	45	—	—	—	99
鹿島町	14	2	5	2	15	10	—	—	48
能登島町	3	3	22	6	13	—	—	—	47
鹿西町	6	—	—	4	1	3	—	—	14
鹿島郡計	48	7	46	53	98	13	—	—	265
穴水町	11	—	36	64	71	1	—	—	183
門前町	7	3	27	14	99	8	—	—	158
能都町	3	—	42	28	42	—	—	—	115
柳田町	6	—	5	28	66	—	—	—	105
鳳至郡計	27	3	110	134	278	9	—	—	561

傾斜区分 市町村名	0°～3°	3°～8°	8°～15°	15°～ 20°	20°～ 30°	30°～ 40°	40° ～	湖沼	合計
内浦町	12	7	21	—	14	—	—	—	54
珠洲郡計	12	7	21	—	14	—	—	—	54
河北瀧 (含干拓地)								22	22
県計	753	109	442	585	1,545	712	23	26	4,195

2-2 標高区分別面積市町村別内訳

(単位: Km²)

標高区分 市町村名	0 ~ 100m	100~ 200m	200~ 400m	400~ 600m	600~ 800m	800~ 1000m	1000~ 1500m	1500m 以上	湖沼等	合計	備考
金沢市	162	80	76	57	47	22	15	0	-	459	
七尾市	90	22	31	1	-	-	-	-	-	144	
小松市	155	51	69	36	29	23	11	-	1	375	
輪島市	66	93	104	8	-	-	-	-	-	271	
珠洲市	116	76	53	2	-	-	-	-	-	247	
加賀市	126	14	9	1	-	-	-	-	2	152	
羽咋市	61	10	8	1	-	-	-	-	1	81	
松任市	60	-	-	-	-	-	-	-	-	60	
市部計	836	346	350	106	76	45	26	0	4	1,789	
山中町	9	17	51	40	22	11	5	-	-	155	
江沼郡計	9	17	51	40	22	11	5	-	-	155	
根上町	14	-	-	-	-	-	-	-	-	14	
寺井町	13	-	-	-	-	-	-	-	-	13	
辰口町	28	16	11	1	-	-	-	-	-	56	
川北村	15	-	-	-	-	-	-	-	-	15	
能美郡計	70	16	11	1	-	-	-	-	-	98	
美川町	10	-	-	-	-	-	-	-	-	10	
鶴来町	14	6	8	5	0	-	-	-	-	35	
野々市町	13	-	-	-	-	-	-	-	-	13	
河内村	-	4	11	17	17	13	13	0	-	75	
吉野谷村	-	1	7	16	22	22	58	16	-	142	
鳥越村	-	8	37	23	6	1	0	-	-	75	
尾口村	-	-	6	15	22	15	38	41	-	137	
白峰村	-	-	-	15	42	51	82	32	-	222	
石川郡計	37	19	69	91	111	102	191	89	-	709	
津幡町	65	25	14	2	-	-	-	-	-	106	
高松町	20	2	4	1	-	-	-	-	-	27	
七塚町	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
宇ノ気町	27	3	0	-	-	-	-	-	-	30	

標高区分 市町村名	0 ~	100~	200~	400~	600~	800~	1000~	1500 m	湖沼等	合 計	備考
	100m	200m	400m	600m	800m	1000m	1500m	以上			
内 灘 町	13	—	—	—	—	—	—	—	—	13	
河北郡計	131	30	18	3	—	—	—	—	—	182	
富 来 町	76	36	12	—	—	—	—	—	—	124	
志 雄 町	28	19	11	1	—	—	—	—	—	59	
志 賀 町	103	20	0	—	—	—	—	—	—	123	
押 水 町	27	7	12	8	0	—	—	—	—	54	
押 昨 郡 計	234	82	35	9	0	—	—	—	—	360	
田 鶴 浜 町	26	4	0	—	—	—	—	—	—	30	
鳥 屋 町	19	8	0	—	—	—	—	—	—	27	
中 島 町	61	23	15	—	—	—	—	—	—	99	
鹿 島 町	19	6	17	6	—	—	—	—	—	48	
能 登 島 町	41	6	—	—	—	—	—	—	—	47	
鹿 西 町	10	4	—	—	—	—	—	—	—	14	
鹿 島 郡 計	176	51	32	6	—	—	—	—	—	265	
穴 水 町	98	60	25	—	—	—	—	—	—	183	
門 前 町	41	60	57	—	—	—	—	—	—	158	
能 都 町	34	67	14	—	—	—	—	—	—	115	
柳 田 村	16	40	48	1	—	—	—	—	—	105	
鳳 至 郡 計	189	227	144	1	—	—	—	—	—	561	
内 浦 町	32	20	2	—	—	—	—	—	—	54	
珠 洲 郡 計	32	20	2	—	—	—	—	—	—	54	

標高区分 市町村名	0 ~	100~	200~	400~	600~	800~	1000~	1500m	湖沼等	合計	備考
	100m	200m	400m	600m	800m	1000m	1500m	以上			
郡部計	878	462	362	151	133	113	196	89	0	2,384	
河北瀉 (含可開拓地)									22	22	
県合計	1,714	808	712	257	209	158	222	89	26	4,195	

2 - 3 地形区分別面積市町村別内訳

地形区分 市町村名	山地・火山地					丘陵地			台地・段丘			
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計	砂礫	ローム	岩石	計
金沢市	69	81	76	12	238	88	2	90	24	-	-	24
七尾市	-	-	67	-	67	9	29	38	13	-	4	17
小松市	8	75	139	-	222	27	30	57	15	-	-	15
輪島市	-	5	182	-	187	69	-	69	2	-	-	2
珠洲市	-	-	103	-	103	85	20	105	21	-	-	21
加賀市	-	1	32	-	33	-	36	36	31	-	-	31
羽咋市	-	-	23	-	23	6	6	12	6	-	-	6
松任市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市部計	77	162	622	12	873	284	123	407	112	-	4	116
山中町	16	83	52	-	151	-	-	-	4	-	-	4
江沼郡計	16	83	52	-	151	-	-	-	4	-	-	4
根上町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寺井町	-	-	-	-	-	-	1	1	0	-	-	0
辰口町	-	20	-	-	20	19	3	22	-	-	-	-
川北村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
能美郡計	-	20	-	-	20	19	4	23	0	-	-	0
美川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(单位 : km²)

低 地				湖 沼	合 計	備 考
扇性地性	三角州性	自然堤防砂州	計			
36	62	9	107	—	459	
13	9	—	22	—	144	
18	49	13	80	1	375	
11	2	—	13	—	271	
5	11	2	18	—	247	
9	29	12	50	2	152	
6	24	9	39	1	81	
57	2	1	60	—	60	
155	188	46	389	4	1,789	
—	—	—	—	—	155	
—	—	—	—	—	155	
6	2	6	14	—	14	
11	1	—	12	—	13	
14	—	—	14	—	56	
15	—	—	15	—	15	
46	3	6	55	—	98	
8	—	2	10	—	10	

地形区分 市町村名	山地・火山地					丘陵地			台地・段丘			
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計	砂礫	ローム	岩石	計
鶴来町	-	12	5	-	17	-	-	-	4	-	-	4
野々市町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河内村	40	33	-	-	73	-	-	-	-	-	-	-
吉野谷村	125	13	-	-	138	-	-	-	4	-	-	4
鳥越村	1	22	43	-	66	-	-	-	8	-	-	8
尾口村	113	22	-	-	135	-	-	-	2	-	-	2
白峰村	122	94	6	-	222	-	-	-	-	-	-	-
石川郡計	401	196	54	-	651	-	-	-	18	-	-	18
津幡町	-	-	22	-	22	50	16	66	-	-	-	-
高松町	-	1	5	-	6	4	3	7	5	-	-	5
七塚町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇ノ気町	-	-	-	-	-	6	10	16	1	-	-	1
内灘町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河北郡計	-	1	27	-	28	60	29	89	6	-	-	6
富来町	-	-	27	-	27	76	2	78	11	-	-	11
志雄町	1	-	24	-	25	24	-	24	-	-	-	-
志賀町	-	-	-	-	-	50	44	94	8	-	1	9
押水町	-	-	4	20	24	7	-	7	3	-	-	3
羽咋郡計	1	-	55	20	76	157	46	203	22	-	1	23

低地				湖 沼	合 計	備 考
扇状地性	三角州性	自然堤防砂州	計			
14	—	—	14	—	35	
13	—	—	13	—	13	
2	—	—	2	—	75	
0	—	—	0	—	142	
1	—	—	1	—	75	
—	—	—	—	—	137	
—	—	—	—	—	222	
38	—	2	40	—	709	
4	14	—	18	—	106	
—	1	8	9	—	27	
—	—	6	6	—	6	
2	6	5	13	—	30	
—	—	13	13	—	13	
6	21	32	59	—	182	
5	—	3	8	—	124	
6	0	4	10	—	59	
9	5	6	20	—	123	
4	8	8	20	—	54	
24	13	21	58	—	360	

地形区分 市町村名	山地・火山地					丘陵地			台地・段丘			
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計	砂礫	ローム	岩石	計
田鶴浜町	-	-	-	-	-	11	9	20	2	-	-	2
鳥屋町	-	-	-	-	-	14	4	18	1	-	-	1
中島町	-	-	32	-	32	48	5	53	-	-	5	5
鹿島町	-	-	32	-	32	-	-	-	-	-	-	-
能登島町	-	-	-	-	-	25	8	33	0	-	12	12
鹿西町	-	-	-	-	-	7	-	7	-	-	-	-
鹿島郡計	-	-	64	-	64	105	26	131	3	-	17	20
穴水町	-	-	29	-	29	97	43	140	5	-	6	11
門前町	-	-	125	-	125	23	-	23	2	-	-	2
能都町	-	-	-	-	-	111	1	112	2	-	-	2
柳田村	-	-	32	-	32	67	-	67	0	-	-	0
鳳至郡計	-	-	186	-	186	298	44	342	9	-	6	15
内浦町	-	-	-	-	-	37	-	37	15	-	1	16
珠洲郡計	-	-	-	-	-	37	-	37	15	-	1	16
郡部計	418	300	438	20	1,176	676	149	825	77	-	25	102
河北瀧 (含干拓地)												
県計	495	462	1,060	32	2,049	960	272	1,232	189	-	29	218

低 地				湖 沼	合 計	備 考
扇状地性	三角州性	自然堤防砂州	計			
2	6	-	8	-	30	
8	-	-	8	-	27	
4	5	-	9	-	99	
16	-	-	16	-	48	
-	2	-	2	-	47	
5	2	-	7	-	14	
35	15	-	50	-	265	
2	1	-	3	-	183	
8	-	-	8	-	158	
1	-	-	1	-	115	
6	-	-	6	-	105	
17	1	-	18	-	561	
1	-	-	1	-	54	
1	-	-	1	-	54	
167	53	61	281	-	2384	
				22		
322	241	107	670	26	4,195	

2 - 4 表層地質分布面積市町村別内訳

表層地質 市町村名	未固結堆積物					未固結～固結堆積物								
	砂	礫・砂・泥(I)	砂・泥(II)	計	礫岩・砂岩・泥岩(I)	砂岩(I)	礫岩(I)	砂岩(II)	泥岩	砂岩・泥岩	礫岩・砂岩・泥岩(II)	砂岩・泥岩・凝灰岩	礫岩(II)	
金沢市	9	72	47	4	132	15	49	-	3	37	-	3	-	-
七尾市	-	22	-	18	40	-	-	3	26	38	-	19	-	-
小松市	14	62	1	29	106	-	-	-	-	-	-	6	-	-
輪島市	-	11	1	2	14	-	-	7	-	30	87	15	-	-
珠洲市	2	15	-	21	38	-	-	-	-	95	-	16	-	-
加賀市	12	37	7	44	100	-	-	-	3	11	-	-	-	-
羽咋市	10	30	-	4	44	-	0	26	5	4	-	0	-	-
松任市	1	2	57	-	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市部計	48	251	113	122	534	15	49	36	37	215	87	59	-	-
山中町	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	13	-	-
江沼郡計	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	13	-	-
根上町	6	2	6	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寺井町	-	1	11	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
辰口町	-	1	12	12	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川北村	-	-	15	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
能美郡計	6	4	44	13	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美川町	2	-	8	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鶴来町	-	-	17	-	17	-	-	-	-	-	-	1	-	-
野々市町	-	-	13	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河内村	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
吉野谷村	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥越村	-	-	8	-	8	-	-	-	-	-	-	6	-	-
尾口村	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
白峰町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川郡計	2	-	53	-	55	-	-	-	-	-	-	7	-	1
津幡町	-	17	-	-	17	-	3	-	11	54	-	5	4	-
高松町	8	1	-	5	14	1	2	-	-	-	-	-	-	-

			火山性岩石						深成・変成岩				湖沼	合計	
礫岩・砂岩	頁岩および頁岩層	計	新期安山岩質岩石	および火山碎屑物	火山碎屑物	流紋岩・質岩石 (含石英安山岩)	安山岩質岩石 (含質安山岩)	武角礫岩類 (同類)	凝灰岩・質岩石	流紋岩・質凝灰岩	計	花崗岩・質岩石			片麻岩・質岩石
-	-	107	2	13	2	1	197	5	220	-	-	-	-	-	459
-	-	86	-	-	-	18	0	-	18	-	0	-	0	-	144
1	4	11	4	-	36	57	152	-	249	-	8	-	8	1	375
-	-	139	-	-	3	80	32	-	115	3	-	-	3	-	271
-	-	111	-	-	-	24	74	-	98	-	-	-	-	-	247
-	-	14	-	-	1	-	35	-	36	-	-	-	-	2	152
-	-	35	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	81
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60
1	4	503	6	13	42	180	490	5	736	4	8	-	12	4	1,789
-	-	13	2	-	2	96	29	6	135	-	4	-	4	-	155
-	-	13	2	-	2	96	29	6	135	-	4	-	4	-	155
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
-	-	-	-	-	2	-	29	-	31	-	-	-	-	-	56
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
-	-	-	-	-	2	-	29	-	31	-	-	-	-	-	98
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
-	-	1	-	-	-	-	17	-	17	-	-	-	-	-	35
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
-	-	-	-	-	7	-	59	7	73	-	-	-	-	-	73
-	5	5	1	-	8	-	44	73	126	-	7	-	7	-	142
-	1	7	-	-	7	11	42	-	60	-	-	-	-	-	75
6	22	29	16	-	-	8	-	36	60	-	42	5	47	-	137
133	25	158	31	-	-	11	-	7	49	-	14	1	15	-	222
139	53	200	48	-	22	30	162	123	385	-	63	6	69	-	709
-	-	7	-	-	-	-	7	-	7	5	-	-	5	-	106
-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	10	-	27

表層地質 市町村名	未固結堆積物					未固結～固結堆積物								
	砂	礫・砂・泥 (I)	砂 礫	礫・砂・泥 (II)	計	礫岩・砂岩・泥岩 (I)	砂 岩 (I)	礫 岩 (I)	砂 岩 (II)	泥 岩	砂岩・泥岩	礫岩・砂岩・泥岩 (II)	砂岩・泥岩・凝灰岩	礫 岩 (II)
七塚町	6	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
字ノ気町	5	7	—	1	13	9	5	—	—	1	—	—	—	—
内灘町	13	—	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
河北郡計	32	25	—	6	63	10	10	—	11	55	—	5	4	—
富来町	3	6	—	15	24	—	—	—	3	3	—	3	—	—
志雄町	4	7	—	—	11	—	—	—	17	16	7	—	—	—
志賀町	6	13	—	6	25	—	—	13	34	6	—	—	—	—
押水町	7	7	3	7	24	—	—	0	0	5	2	5	4	—
羽咋郡計	20	33	3	28	84	—	2	19	54	30	9	8	4	—
田鶴浜町	—	7	—	5	12	—	—	—	2	4	—	—	—	—
鳥屋町	—	7	—	5	12	—	—	1	8	1	—	—	—	—
中島町	—	7	1	—	8	—	—	1	—	17	—	1	—	—
鹿島町	—	15	—	—	15	—	—	11	5	6	—	4	—	—
能登島町	—	2	—	—	2	—	—	1	—	22	—	—	—	—
鹿西町	—	7	—	—	7	—	—	5	2	—	—	—	—	—
鹿島郡計	—	45	1	10	56	—	—	19	17	50	—	5	—	—
穴水町	—	4	—	12	16	—	1	35	2	—	11	—	—	—
門前町	—	8	—	4	12	—	—	47	7	—	47	13	—	—
能都町	—	—	—	8	8	—	1	12	—	—	—	6	—	—
柳田村	—	5	—	4	9	—	—	—	—	5	—	1	—	—
鳳至郡計	—	17	—	28	45	—	2	94	9	5	58	20	—	—
内浦町	—	1	—	16	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
珠洲郡計	—	1	—	16	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
郡部計 河北瀧 (含干拓地)	60	125	104	101	390	10	14	132	91	140	67	58	8	1
県計	108	376	217	223	924	25	63	168	128	355	154	117	8	1

			火山性岩石						深成・変成岩				湖沼	合計		
礫岩・砂岩	頁岩および頁岩砂層	計	新期安山岩質岩石	および火山碎屑物	火山碎屑物	流紋岩・質岩石 (含石英安山岩)	安山岩質岩石 (含類文)	武角礫岩類	凝灰岩・質岩石	流紋岩・質凝灰岩	計	花崗岩・質岩石			片麻岩・質岩石	結晶質石灰石
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	30
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
-	-	96	-	-	-	-	-	7	-	7	17	-	-	-	17	182
-	-	9	-	-	-	-	91	-	-	91	-	0	-	-	0	124
-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
-	-	53	-	-	-	-	45	-	-	45	-	-	-	-	-	123
-	-	16	-	-	-	-	-	0	-	0	14	-	-	-	14	54
-	-	126	-	-	-	-	136	0	-	136	14	0	-	-	14	360
-	-	6	-	-	-	-	12	-	-	12	-	-	-	-	-	30
-	-	10	-	-	-	-	5	-	-	5	-	-	-	-	-	27
-	-	19	-	-	-	-	72	-	-	72	-	-	-	-	-	99
-	-	26	-	-	-	-	2	-	-	2	3	2	-	-	5	48
-	-	23	-	-	-	-	22	-	-	22	-	-	-	-	-	47
-	-	7	-	-	-	-	0	-	-	0	0	-	-	-	0	14
-	-	91	-	-	-	-	113	-	-	113	3	2	-	-	5	265
-	-	49	-	-	-	-	116	1	-	117	1	-	-	-	1	183
-	-	114	-	-	1	-	25	1	-	27	5	-	-	-	5	158
-	-	19	-	-	-	-	76	12	-	88	-	-	-	-	-	115
-	-	6	-	-	-	-	53	37	-	90	-	-	-	-	-	105
-	-	188	-	-	1	-	270	51	-	322	6	-	-	-	6	561
-	-	-	-	-	-	-	23	14	-	37	-	-	-	-	-	54
-	-	-	-	-	-	-	23	14	-	37	-	-	-	-	-	54
139	53	714	50	-	27	-	669	292	130	1,168	40	69	6	115	-	2,384
														22		22
140	57	1,217	56	13	69	-	848	782	134	1,902	44	77	6	127	25	4,195

2 - 5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土 壤 統 群 市 町 村	未 熟 土			黒 ボ ク 土					褐 色 森 林 土 壤							
	残積性未熟土壌	砂丘未熟土壌	計	厚層黒ボク土壌	黒ボク土壌	多湿黒ボク土壌	黒ボクダライ土壌	計	乾性褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌(黄褐系)	乾性褐色森林土壌(赤褐系)	褐色森林土壌	褐色森林土壌(黄褐系)	褐色森林土壌(赤褐系)	湿性褐色森林土壌	計
石川県	41	70	111	1	16	22	3	42	295	118	3	1,065	877	21	105	2,484
加 賀	4	41	45	1	10	22	2	35	245	37	-	597	225	9	68	1,181
能 登	37	29	66	-	6	-	1	7	50	81	3	468	652	12	37	1,303
加賀南部	3	20	23	-	2	14	2	18	33	34	-	167	211	-	25	470
加賀市	0	13	13	-	1	5	1	7	-	11	-	-	44	-	2	57
小松市	3	6	9	-	1	7	0	8	19	15	-	83	109	-	12	238
山中町	0	-	0	-	0	-	-	0	13	6	-	73	36	-	9	137
寺井町	-	-	-	-	0	1	1	2	-	0	-	-	1	-	0	1
根上町	-	1	1	-	-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
辰口町	0	-	0	-	0	1	-	1	1	2	-	11	21	-	2	37
川北村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加賀北部	1	21	22	1	8	8	-	17	212	3	-	430	14	9	43	711
金沢市	-	8	8	1	8	2	-	11	117	-	-	121	-	9	7	254
松任市	-	0	0	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
美川町	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鶴来町	-	-	-	-	0	0	-	0	1	-	-	17	-	-	1	19
野々市町	-	-	-	-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
河内村	0	-	0	-	-	-	-	-	5	-	-	44	-	-	9	58
吉野谷村	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	32	-	-	4	53
鳥越村	1	-	1	-	0	-	-	0	2	3	-	36	14	-	5	60
尾口村	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	22	-	-	3	41
白峰村	-	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	88	-	-	13	148
津幡町	-	-	-	-	0	-	-	0	5	-	-	50	-	-	1	56
高松町	0	4	4	-	0	-	-	0	1	-	-	10	-	-	0	11
七塚町	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇ノ気町	0	3	3	-	-	-	-	-	1	-	-	10	-	-	0	11
内灘町	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

ポドソル			赤黄色土壌			灰色低地土				グライ土				泥炭土			岩 石 地	そ の 他	合 計
乾性 ポドソル 化土壌	湿性 ポドソル 化土壌	計	赤 色 土 壌	黄 色 土 壌	計	細 粒 灰 色 低 地 土 壌	灰 色 低 地 土 壌	粗 粒 灰 色 低 地 土 壌	計	細 粒 グ ラ イ 土 壌	グ ラ イ 土 壌	粗 粒 グ ラ イ 土 壌	計	低 地 泥 炭 土 壌	黒 泥 土 壌	計			
99	39	138	11	83	94	101	28	52	181	218	84	23	325	2	3	5	73	720	4,195
99	39	138	4	18	22	88	22	51	161	86	21	12	119	-	3	3	64	424	2,192
-	-	-	7	65	72	13	6	1	20	132	63	11	206	2	-	2	9	296	1,981
23	-	23	2	11	13	18	7	14	39	45	12	6	63	-	2	2	4	125	780
-	-	-	0	9	9	2	1	1	4	22	2	1	25	-	-	-	-	37	152
14	-	14	1	1	2	9	3	4	16	17	8	0	25	-	2	2	2	59	375
9	-	9	0	0	0	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	2	5	155
-	-	-	-	0	0	1	1	0	2	1	0	3	4	-	-	-	-	4	13
-	-	-	-	-	-	4	-	1	5	1	2	0	3	-	-	-	-	5	14
-	-	-	1	1	2	2	-	3	5	2	-	-	2	-	-	-	-	9	56
-	-	-	-	-	-	0	2	5	7	-	0	2	2	-	-	-	-	6	15
76	39	115	2	7	9	70	15	37	122	41	9	6	56	-	1	1	60	299	1,412
13	-	13	2	3	5	39	8	2	49	12	8	0	20	-	-	-	7	92	459
-	-	-	-	-	-	17	7	19	43	1	0	-	1	-	1	1	-	14	60
-	-	-	-	-	-	-	0	1	1	-	0	3	3	-	-	-	-	5	10
-	-	-	-	0	0	4	-	7	11	-	-	-	-	-	-	-	0	5	35
-	-	-	-	-	-	3	0	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4	13
5	2	7	-	0	0	-	-	1	1	-	-	0	0	-	-	-	3	6	75
30	16	36	-	0	0	-	-	1	1	-	-	0	0	-	-	-	21	32	143
0	-	0	-	1	1	-	-	5	5	-	-	1	1	-	-	-	0	7	75
11	20	31	-	0	0	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	22	42	137
17	11	28	-	1	1	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	7	38	222
-	-	-	-	2	2	5	-	-	5	18	1	-	19	-	-	-	0	25	107
-	-	-	-	0	0	1	-	0	1	3	-	-	3	-	-	-	-	8	27
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6
-	-	-	-	0	0	1	-	-	1	6	-	1	7	-	-	-	-	8	30
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	10	13

土 壤 統 群 市 町 村	未熟土			黒ボク土					褐色森林土							
	残積性 未熟土 壤	砂丘未熟 土 壤	計	厚層黒 ボク土 壤	黒ボク 土 壤	多湿黒 ボク土 壤	黒ボク ダライ 土 壤	計	乾性褐色 森林土 壤	乾性褐色 森林土 壤 (黄褐色)	乾性褐色 森林土 壤 (赤褐色)	褐色森林 土 壤	褐色森林 土 壤 (黄褐色)	褐色森林 土 壤 (赤褐色)	湿性褐色 森林土 壤	計
能登南部	19	29	48	-	3	-	1	4	16	34	-	157	249	9	10	475
七尾市	0	0	0	-	1	-	1	2	5	1	-	60	18	-	2	86
羽咋市	6	9	15	-	-	-	-	-	1	0	-	7	7	-	1	16
富来町	8	1	9	-	-	-	-	-	3	9	-	26	44	-	1	83
志雄町	0	4	4	-	1	-	-	1	2	1	-	21	9	-	1	34
押水町	0	7	7	-	0	-	-	0	2	-	-	23	-	-	2	27
田鶴浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	15	-	0	17
鳥屋町	-	-	-	-	0	-	0	0	-	1	-	-	14	-	0	15
中島町	0	-	0	-	-	-	-	-	2	6	-	-	67	-	1	76
鹿島町	0	-	0	0	1	-	0	1	1	0	-	20	5	-	1	27
能登島町	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	24	-	0	25
鹿西町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	-	0	8
志賀町	4	8	12	-	-	-	-	-	-	12	-	-	39	9	1	61
能登北部	18	0	18	-	3	-	-	3	34	47	3	311	403	3	27	828
輪島市	4	0	4	-	2	-	-	2	10	8	-	108	65	-	7	198
珠洲市	2	-	2	-	0	-	-	0	4	18	-	31	119	-	9	181
能都町	-	-	-	-	0	-	-	0	1	6	-	4	77	-	1	89
穴水町	8	-	8	-	0	-	-	0	8	5	3	67	42	3	1	129
門前町	2	-	2	-	1	-	-	1	3	5	-	43	58	-	5	114
柳田村	-	-	-	-	0	-	-	0	5	5	-	37	34	-	3	84
内浦町	2	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	21	8	-	1	33
河北瀧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

ポドソル			赤黄色土壌			灰色低地土				グライ土				泥炭土			岩 石 地	そ の 他	合 計
乾性 ポドソル 化土壌	湿性 ポドソル 化土壌	計	赤 色 土 壌	黄 色 土 壌	計	細 粒 灰 色 低 地 土 壌	灰 色 低 地 土 壌	粗 粒 灰 色 低 地 土 壌	計	細 粒 グ ラ イ 土 壌	グ ラ イ 土 壌	粗 粒 グ ラ イ 土 壌	計	低 地 泥 炭 土 壌	黒 泥 土 壌	計			
-	-	-	1	28	29	-	5	1	6	61	63	9	133	2	-	2	0	151	848
-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	7	13	1	21	-	-	-	0	32	144
-	-	-	0	1	1	-	-	1	1	9	13	3	25	2	-	2	0	21	81
-	-	-	1	5	6	0	-	-	0	10	0	-	10	-	-	-	-	16	124
-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	3	6	-	9	-	-	-	0	10	59
-	-	-	0	1	1	-	5	0	5	1	2	1	4	-	-	-	0	10	54
-	-	-	0	1	1	-	-	-	-	0	5	1	6	-	-	-	-	6	30
-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	1	6	-	7	-	-	-	-	4	26
-	-	-	0	2	2	-	-	-	-	9	2	-	11	-	-	-	-	10	99
-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	8	3	12	-	-	-	0	7	48
-	-	-	0	6	6	0	-	-	0	6	1	-	7	-	-	-	0	8	47
-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	1	3	-	4	-	-	-	0	2	14
-	-	-	0	7	7	-	0	-	0	13	4	0	17	-	-	-	-	25	122
-	-	-	6	37	43	13	1	-	14	71	-	2	73	-	0	0	9	145	1,133
-	-	-	1	6	7	1	-	0	1	16	-	1	17	-	-	-	4	38	271
-	-	-	1	9	10	3	1	-	4	17	0	0	17	-	0	0	0	33	247
-	-	-	1	7	8	2	-	-	2	13	-	0	13	-	-	-	1	2	115
-	-	-	2	5	7	0	0	-	0	10	0	1	11	-	-	-	0	28	183
-	-	-	0	5	5	4	-	-	4	4	-	0	4	-	-	-	4	24	158
-	-	-	1	1	2	2	-	-	2	7	-	-	7	-	-	-	0	10	105
-	-	-	0	4	4	1	-	-	1	4	0	-	4	-	-	-	-	10	54
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	22	-	-	-	-	-	22

3 土地利用可能性分級

3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

市町村名 類地	一 類 地	二 類 地	三 類 地	四 類 地	五 類 地	六 類 地	七 類 地	八 類 地	計
石川県	1 1 4	4 9 5	6 0 6	1,8 8 6	5 4 9	3 3 9	1 4 4	6 2	4,1 9 5
加賀能登	1 1 3 1	2 7 1 2 2 4	1 8 1 4 2 5	6 5 2 1,2 3 4	4 8 2 6 7	3 3 9 -	1 1 8 2 6	5 7 5	2,2 1 3 1,9 8 2
加賀南部	2 7	1 2 0	8 2	2 8 7	2 0 0	4 3	2	1 9	7 8 0
加賀市	-	4 1	3 0	6 3	1 3	-	2	3	1 5 2
小松市	1 6	5 3	2 9	1 4 4	1 0 0	2 4	-	9	3 7 5
山中町	-	3	-	5 7	7 6	1 9	0	-	1 5 5
寺井町	2	5	5	-	-	-	-	1	1 3
根上町	4	4	6	-	-	-	-	-	1 4
辰口町	2	7	1 0	2 3	1 1	-	-	3	5 6
川北村	3	7	2	-	-	-	-	3	1 5
加賀北部	8 6	1 5 1	9 9	3 6 5	2 8 2	2 9 6	1 1 6	1 6	1,4 1 1
金沢市	3 3	6 9	2 5	1 6 7	1 0 8	3 0	1 2	1 5	4 5 9
松任市	3 5	2 4	1	-	-	-	-	-	6 0
美川町	1	2	6	-	-	-	-	1	1 0
鶴来町	6	1 0	-	9	9	1	-	0	3 5
野々市町	1 1	2	-	-	-	-	-	-	1 3
河内村	-	4	-	2	3 9	2 6	4	-	7 5
吉野谷村	-	3	2	8	2 5	6 0	4 4	-	1 4 2
鳥越村	-	6	1	3 1	3 5	2	-	-	7 5
尾口村	-	0	1	1 5	2 5	6 2	3 4	-	1 3 7
白峰村	-	-	-	4 7	3 8	1 1 5	2 2	-	2 2 2
津幡町	-	1 7	2 6	6 2	2	-	-	-	1 0 7
高松町	-	8	8	1 0	1	-	-	-	2 7
七塚町	-	-	6	-	-	-	-	-	6
宇ノ気町	-	6	1 0	1 4	-	-	-	-	3 0
内灘町	-	-	1 3	-	-	-	-	-	1 3

市町村名 類地	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地	計
能登南部	—	1 3 7	2 0 1	4 6 1	4 0	—	5	5	8 4 9
七尾市	—	2 1	4 6	6 2	1 2	—	—	3	1 4 4
羽咋市	—	2 6	2 3	6 5	5	—	—	2	8 1
富来町	—	1 0	3 3	7 6	2	—	3	—	1 2 4
志雄町	—	8	7	4 4	—	—	—	—	5 9
志賀町	—	9	4 5	6 5	1	—	2	—	1 2 2
押水町	—	1 3	1 0	3 1	0	—	—	—	5 4
田鶴浜町	—	5	8	1 7	—	—	—	—	3 0
鳥屋町	—	9	1	1 6	1	—	—	—	2 7
中島町	—	1 1	1 2	7 6	—	—	—	—	9 9
鹿島町	—	1 5	3	1 5	1 5	—	—	—	4 8
能登島町	—	4	1 3	3 0	—	—	0	—	4 7
鹿西町	—	6	—	4	4	—	—	—	1 4
能登北部	1	8 7	2 2 4	7 7 3	2 7	—	2 1	—	1, 1 3 3
輪島市	1	1 4	2 9	2 0 4	1 8	—	5	—	2 7 1
珠洲市	—	2 0	5 8	1 6 2	2	—	5	—	2 4 7
能都町	—	1 5	3 2	6 8	—	—	0	—	1 1 5
穴水町	—	1 0	3 8	1 3 0	1	—	4	—	1 8 3
門前町	—	1 1	3 3	1 0 5	5	—	4	—	1 5 8
柳田村	—	8	8	8 8	1	—	—	—	1 0 5
内浦町	—	9	2 6	1 6	—	—	3	—	5 4
河北瀉	—	—	—	—	—	—	—	2 2	2 2

3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

(単位 Km^2)

地形区分 \ 土地利用可能性分級	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地 (未区分地)	合計	備考
山地・大山地	—	12	95	943	535	339	125	—	2,049	
丘陵地	—	52	253	906	14	—	5	2	1,232	
台地・段地	—	98	66	35	—	—	14	5	218	
低地	114	333	192	2	—	—	—	55	696	
合計	114	495	606	1,886	549	339	144	62	4,195	

3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

(単位 Km^2)

地形区分 \ 土地利用可能性分級	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地 (未区分地)	合計	備考
0°~3° (S_1)	114	468	120	5	1	—	9	36	753	
3°~8° (S_2)	—	25	70	11	—	—	3	—	109	
8°~15° (S_3)	—	2	387	41	3	2	7	0	442	
15°~30° (S_4)	—	—	29	1,819	45	237	—	—	2,130	
30°~40° (S_5)	—	—	0	10	500	100	102	—	712	
40°~ (S_6)	—	—	—	—	0	—	23	—	23	
湖沼	—	—	—	—	—	—	—	26	26	
合計	114	495	606	1,886	549	339	144	62	4,195	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

(単位 Km²)

土地利用可能性分級 地形区分	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地 (未区分地)	合計	備考
低暖地帯 (H ₁)	114	493	603	1,711	234	9	34	62	3,260	
山間地帯 (H ₂)	-	2	3	174	213	72	2	-	466	
高冷地帯 (H ₃)	-	-	-	1	102	258	108	-	469	
合計	114	495	606	1,886	549	339	144	62	4,195	

3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連

(単位 Km²)

土地利用可能性分級 土壌生産力可能性等級区分	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地 (未区分地)	合計	備考
はなはだよい (P ₁)	113	6	10	103	64	-	0	-	296	
ややよい (P ₂)	1	489	166	674	219	3	1	-	1,553	
やや劣る (P ₃)	-	0	430	781	129	38	3	-	1,381	
劣る (P ₄)	-	-	0	328	132	116	10	-	586	
はなはだ劣る (P ₅)	-	-	-	-	5	182	130	62	379	
合計	114	495	606	1,886	549	339	144	62	4,195	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

土地利用可能性分級 地域の概要		1 類 地	2 類 地	3 類 地	
地 域 名 (団 地 名)		手取扇状地 (松 任)	河北平野 (金 沢)	中能登丘陵 (志 賀)	
地 形	傾 斜 (谷 密 度)	S ₁ (0°~3°) (0 ~ 1)	S ₁ (0°~3°) (0 ~ 1)	S ₁ ~S ₃ (0°~15°) (0 ~ 1 7)	
	標 高 (根 栽 限 界)	0 ~ 5 0 m	0 ~ 1 0 0 m	0 ~ 1 0 0 m	
表 層 地 質	岩 石 の 種 類	沖積層(泥礫砂)	沖積層(泥礫砂)	礫 礫 岩 砂 質 岩 岩 泥 石 岩	
	岩 石 の か た さ			中 中 軟 硬 硬 紀 第 三 紀 第 四 紀	
時 代		第 四 紀	第 四 紀	第 三 紀 第 四 紀	
土 壤	農 田 畑	土 壤 統 群 生産力可能性分級	灰色低地土壌 I	グライ土壌 II	グライ土壌 III
		土 壤 統 群 生産力可能性等級	-	-	黄色土壌, 砂丘未熟土壌 III III
	草 地	土 壤 統 群 生産力可能性等級	-	-	-
	林 地	土 壤 統 群 地 位 級	-	-	褐色森林, 褐色森林 土 壤 土 壤 (黄 褐 系) (赤 褐 系) III III
水 利 用	地 表 水 地 下 水 天 水	水	○	○	○
		水	○	○	○
		水	×	○	△
気 候 区 分		北 陸 (沿 岸)	北 陸 (沿 岸)	北 陸 (沿 岸)	
面 積	土 地 利 用 可 能 性 類 地 別 面 積 累 内 合 計 (A)	1 1 4	4 8 9	6 1 2	
	当 該 地 域 の 類 地 別 面 積 累 内 合 計 (B)	3 5	6 9	4 5	
	% (B / A)	3 1	1 4		
合 計					

○ 利 用 △ 若 干 利 用 × 利 用 せ ず

4 類 地	5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類地 (未区分地)	備考
宝立山高洲山山地 (輪島)	白山・大日山山地 (小松)	白山・大日山山地 (白峰)	白山・大日山山地 (吉野山)	金沢市	
S ₄ (15°~30°) (7~22) 0~400m	S ₄ ~S ₅ (20°~40°) (13~20) 500~1000m (800m以上)	S ₄ ~S ₅ (20°~40°) (10~19) 800~2500m (800m以上)	S ₇ (40°以上) (10~15) 500~2000m (800m以上)	S ₁ (0°~3°) (0) 0~50m	
安山岩質岩石 礫岩砂岩泥岩 中硬 第三紀	流紋岩質岩石 安山岩質岩石 凝灰岩質岩石 中硬 第三紀	片麻岩 礫岩砂岩頁岩硬 安山岩質岩石硬 中生代 中生代 第四紀	流紋岩質岩石 片麻岩 硬 中生代 先中生代	沖積層(泥礫砂) 軟 第四紀	
-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	
褐色森林, 褐色森林 土 壤 土 壤 (黄褐色系) II III	褐色森林 土 壤 II	褐色森林ポドル 土 壤 III V	褐色森林岩石地 土 壤 III	-	
○ △ ×	○ △ ×	○ × ×	○ × ×	○ ○ ×	
北 陸 (山地)	北 陸 (山地)	北 陸 (奥山地)	北 陸 (奥山地)	北 陸 (沿岸)	
1,886 204	549 100	339 115	144 44	62 15	
11	18	34 A.4195	31 B. 170	24 (B/A)4%	

3 - 4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分			土 地 利 用 の 現 況											備 考			
	類地区分	包含される示性式	面積 (km ²)	水 田		畑				草 地		林 地				空地その他		
				土占有率	平均収穫量率	土占有率	主要作物および平均収穫量率	土占有率	主要作物および平均収穫量率	土占有率	種類および平均収穫量率	土占有率	主要樹種および平均収穫量率	土占有率			主要樹種および平均収穫量率	土占有率
加賀市	1類地		-														面積の単位 ha 平均収穫量率%土地占有率 100~75% A 74~50% B 49~25% C 24~5% D 4%以下空欄以上各表とも同じ	
	2類地	1.12 1.22	41	A	102		野菜											
	3類地	1.13 1.23 1.32	30	B	97							C	クロマツ スギ 75	C	アカマツ クロマツ 66			
	4類地	1.14 1.24 1.34 1.42 1.44	63									C	スギ 106	C	アカマツ 広葉樹 83	D		
	5類地	1.52 1.54 2.54	13									C	スギ 107	B	アカマツ 広葉樹 79			
	6類地		-															
	7類地	1.20 1.30	2															A
	8類地		3															A
市町村計			152															
小松市	1類地	1.11	16	A	108												C	
	2類地	1.12	53	A	103	D	野菜								D			
	3類地	1.13 1.31 1.32 1.33	29	C	97		野菜					D	スギ クロマツ 75	C	アカマツ 広葉樹 86	D		
	4類地	1.34 2.41 1.41 2.42 1.42 2.43 1.43 2.33 1.44	144									C	スギ 104	B	アカマツ 広葉樹 90			
	5類地	1.51 2.53 1.52 2.54 1.53 3.43 1.54 3.42 2.51 2.44 2.52	100									C	スギ 107	B	アカマツ 広葉樹 90			
	6類地	3.44 3.45 3.33 3.24 3.25	24									C	スギ 74	B	広葉樹 64			
	7類地		-															
	8類地		9														A	
市町村計			375															

市町村名	類地区区分			土地利用の現況													備考		
	地区区分	包含される示性式	面積(Km ²)	水田		畑				草地		林地				空地その他			
				土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	人工林		天然林		土地利用占有率	
							土地利用率	主要作物および平均収穫量	土地利用率	主要作物および平均収穫量				土地利用率	主要樹種および平均収穫量	土地利用率			主要樹種および平均収穫量
山中町	1類地		—																
	2類地	1.12	3	A	79													D	
	3類地		—																
	4類地	1.41 2.44 1.42 1.44 2.41 2.42	57									B	スギ 114	C	アカマツ 広葉樹 101				
	5類地	1.51 2.52 1.52 2.54 1.54 3.42 2.44 2.51	76									C	スギ 113	B	アカマツ 広葉樹 91				
	6類地	3.45 3.52 3.54 3.55	19									D	スギ 107	A	広葉樹 47				
	7類地	3.50	0															A	
	8類地		—															B	
市町村計			155																
寺井町	1類地	1.11	2	A	109														
	2類地	1.12	5	A	104														
	3類地	1.13 1.32	5	A	99									D	アカマツ 広葉樹 83				
	4類地		—																
	5類地		—																
	6類地		—																
	7類地		—																
	8類地		1															A	
市町村計			13																

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考	
	類地区分	包含される示性式	面積 (km ²)	水田		畑				草地		林地				空地その他		
				土占有率	平均収量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収量率	土占有率	人工林		天然林			土地利用占有率
						土占有率	主要作物および平均収量	土占有率	主要作物および平均収量				土占有率	主要樹種および平均収量	土占有率	主要樹種および平均収量		
根上町	1類地	1.11	4	A	118													
	2類地	1.12	4	A	106													
	3類地	1.13	6									D	クロマツ 広葉樹 78				C	
	4類地		-															
	5類地		-															
	6類地		-															
	7類地		-															
	8類地		-															
市町村計			14															
辰口町	1類地	1.11	2	A	100													
	2類地	1.12	7	A	98													
	3類地	1.31 1.32 1.33	10									C	スギ 104	C	アカマツ 広葉樹 102			
	4類地	1.34 1.42 1.44	23									C	スギ 107	B	アカマツ 広葉樹 88			
	5類地	1.51 1.52 1.53 1.54	11									C	スギ 108	B	広葉樹 113			
	6類地		-															
	7類地		-															
	8類地		3															A
市町村計			56															

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考				
				水田		畑				草地		林地				空地その他			
	地区区分	包含される示性式	面積 (Km ²)	土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	人工林		天然林		土地利用率	
							土地利用率	主要作物および平均収穫量	土地利用率	主要作物および平均収穫量				主要樹種および平均収穫量		主要樹種および平均収穫量	土地利用率		
川北村	1類地	1.11	3	A	112														
	2類地	1.12	7	A	110														
	3類地	1.13	2	A	107														
	4類地		-																
	5類地		-																
	6類地		-																
	7類地		-																
	8類地		3																A
市町村計			15																
金沢市	1類地	1.11	33	A	109														C
	2類地	1.12 1.21 1.22	69	A	104		だいこん 120		りんご 120										C
	3類地	1.13 1.23 1.32 1.33 1.31	25			A	すいか だいこん 120					D	スギ 88		C	広葉樹 アカマツ 104		D	
	4類地	1.41 1.42 1.43 1.44 2.41 2.42	167									C	スギ 99		B	広葉樹 アカマツ 116			
	5類地	1.51 1.52 1.53 1.54 2.51 2.52 2.53 2.54	108									D	スギ 105		A	広葉樹 107			
	6類地	2.55 3.45 3.54 3.55 3.53	30												A	広葉樹 56			
	7類地	2.50 3.40 3.50	12																A
	8類地		15																A
市町村計			459																

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地			林地			空地その他	
	包含される示性式	面積(Km ²)	土地利用率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類および平均収穫率	土地利用率	人工林		天然林		土地利用占有率	
					土地利用率	主要作物および平均収穫量	土地利用率	主要作物および平均収穫量				土地利用率	主要樹種および平均収穫量	土地利用率			主要樹種および平均収穫量
松任市	1類地	1.1.1	35	A	114												
	2類地	1.1.2	24	A	114												
	3類地	1.1.3	1	A	109										クロマツ 55		
	4類地																
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			60														
美川町	1類地	1.1.1	1	A	106												
	2類地	1.1.2	2	A	106												
	3類地	1.1.3	6	A	101						D	クロマツ 56					
	4類地																
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地			1													A
市町村計			10														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考			
	地区区分	包含される示性式	面積 (km ²)	水田		畑				草地		林地				空地その他 土地利用 占有率		
				土地利用率	平均収 穫量率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類 および平均 収穫量率	土地利用率	人工林				天然林	
						土地利用率	主要作物 および平均 収穫量	土地利用率	主要作物 および平均 収穫量				土地利用率	主要樹種 および平均 収穫量			土地利用率	主要樹種 および平均 収穫量
米 町	1類地	1.11	6	A	110													
	2類地	1.12 1.22	10	B	106							D	スギ 121			D		
	3類地		-															
	4類地	1.41 1.42 1.43 2.42 2.43	9									B	スギ 115	C	アカマツ 広葉樹 59			
	5類地	1.52 2.54 2.52	9									C	スギ 121	B	広葉樹 107			
	6類地	3.54	1															
	7類地		-															
	8類地		0															
市町村計			35															
野 々 市 町	1類地	1.11	11	A	115													
	2類地	1.12	2	A	112													
	3類地																	
	4類地																	
	5類地																	
	6類地																	
	7類地																	
	8類地																	
市町村計			13															

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考			
	地区区分	包含される示性式	面積(Km ²)	水田		畑				草地		林地				空地その他		
				土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	人工林種および平均収穫量率	土地利用率		天然林種および平均収穫量率	土地利用占有率	
河内村	1類地		—															
	2類地	1.1 2 1.2 2	4	D	92							D	スギ 121	D	広葉樹 118			
	3類地		—															
	4類地	1.4 2 2.4 3 2.4 2	2									C	スギ 121	B	広葉樹 118			
	5類地	1.51 2.54 2.44 3.43 2.51 2.52 2.53	39										D	スギ 120	A	アカマツ 広葉樹 97		
	6類地	3.4 4 3.4 5 3.3 3 3.3 4 3.3 5	26									D	スギ 94	A	広葉樹 75			
	7類地	2.5 0 3.5 0	4														A	
	8類地		—															
市町村計			75															
吉野谷村	1類地		—															
	2類地	1.1 2	3	A	91													
	3類地	1.2 3 2.2 2	2	D	91							B	スギ 122					
	4類地	1.4 1 1.4 2 1.4 4 2.4 2 2.4 3	8									C	スギ 115	B	広葉樹 115			
	5類地	1.51 2.54 1.52 3.43 2.51 2.52 2.53	25									D	スギ 114	A	広葉樹 111			
	6類地	3.34 3.55 3.4 4 3.4 5 3.3 3 3.3 4 3.3 5	60									D	スギ 108	A	広葉樹 51			
	7類地	2.50 3.60 2.60 3.64 2.65 3.65 3.30 3.35	44											D	広葉樹 62	A		
	8類地		—															
市町村計			142															

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	包含される示性式	面積(Km ²)	土占有率	平均収穫量率	土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	草地の種類および平均収穫量率	土占有率	人工林		天然林		土地利用占有率	
												土占有率	平均収穫量率	土占有率			平均収穫量率
鳥越村	1類地		-														
	2類地	1.12	6	A	94												
	3類地	1.23	1	C	90						D	スギ 94					
	4類地	1.41 2.43 1.42 1.43 1.44 2.42	31								C	スギ 123	B	アカマツ 広葉樹 104			
	5類地	1.51 2.54 1.52 1.53 2.52 2.53	35								C	スギ 123	B	広葉樹 111			
	6類地	3.53 3.54 3.55	2										A	広葉樹 91			
	7類地		-														
	8類地		-														
市町村計			75														
尾口村	1類地		-														
	2類地		0														
	3類地	1.23 2.22	1	A	71												
	4類地	2.41 2.42 2.43 2.44	15								B	スギ 116	C	広葉樹 113			
	5類地	2.51 2.52 2.53 3.43	25								C	スギ 114	B	広葉樹 109			
	6類地	3.44 3.55 3.45 3.52 3.53 3.54	62								D	スギ 94	A	広葉樹 56	D		
	7類地	2.50 3.64 3.40 3.50 3.60 3.65	34										D	広葉樹 47			
	8類地		-														
市町村計			137														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地		空地			
	地区分	包含される示性式	面積(Km ²)	土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量	土地利用率	主要作物および平均収穫量	土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	主要樹種および平均収穫量	土地利用率		主要樹種および平均収穫量	土地利用率
白峰村	1類地		-														
	2類地		-														
	3類地		-														
	4類地	2.42 2.43	47									C	スギ 106	B	広葉樹 105		
	5類地	2.44 2.52 2.53 2.54 3.43	38										D	スギ 98	A	広葉樹 98	
	6類地	3.44 3.45 3.53 3.54 3.55	115										D	スギ 94	A	広葉樹 60	
	7類地	7.62 3.40 3.50	22												D	広葉樹 40	A
	8類地		-														
市町村計			222														
津幡町	1類地		-														
	2類地	1.12	17	A	103												
	3類地	1.13 1.23 1.32 1.33	26	C	93	D	野菜							C	アカマン 広葉樹 104		
	4類地	1.34 1.41 1.42 1.43										D	スギ 90	B	アカマン 広葉樹 107		
	5類地	1.53	2											A	広葉樹 100		
	6類地		-														
	7類地		-														
	8類地		-														
市町村計			107														

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考		
	地区分	包含される示性式	面積 (km ²)	水田			畑			草地			林地		空地その他 土地利用率				
				土地利用率	平均収獲量率	土地利用率	普通畑		樹園地	土地利用率	草地の種類	平均収獲量率	土地利用率	人工林		天然林			
							主要作物おおよび平均収獲量	土地利用率						主要作物おおよび平均収獲量		スギ		クロマツ	スギ
高松市	1類地		—																
	2類地	1.2.2	8	C	99	D	野菜						D	スギ 108	D	アカマツ 132			
	3類地	1.1.3 1.2.3 1.3.2	8			D	野菜	B	ぶどう 90				D	スギ クロマツ 85	D	アカマツ 広葉樹 95			
	4類地	1.4.1 1.4.2 1.4.3 1.4.4	10										D	スギ 91	A	アカマツ 広葉樹 108			
	5類地	1.5.3	1										B	スギ 80	C	アカマツ 90			
	6類地		—																
	7類地		—																
	8類地		—																
市町村計			27																
七塚町	1類地		—																
	2類地		—																
	3類地	1.1.3 1.2.3	6			C	野菜						D	クロマツ 90	D	クロマツ 90			
	4類地		—																
	5類地		—																
	6類地		—																
	7類地		—																
	8類地		—																
市町村計			6																

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考				
				水田		畑				草地		林地				空地その他			
	類地区分	包含される示性式	面積(k㎡)	土占有率	平均収穫量率	土占有率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収穫率	土占有率	人工林		天然林		土地利用占有率	
							土占有率	主要作物および平均収穫率	土占有率	主要作物および平均収穫率				主要樹種および平均収穫率		土占有率	主要樹種および平均収穫率		
宇気町	1類地		-																
	2類地	1.12 1.22	6	A	100														
	3類地	1.13 1.23	10	B	100	D	野菜						D	スギ 80	D	アカマツ 広葉樹 95			
	4類地	1.42 1.43	14										D	スギ 84	A	アカマツ 広葉樹 99			
	5類地		-																
	6類地		-																
	7類地		-																
	8類地		-																
市町村計			30																
内灘町	1類地		-																
	2類地		-																
	3類地	1.13 1.23	13	C	96								D	広葉樹 100				D	
	4類地		-																
	5類地		-																
	6類地		-																
	7類地		-																
	8類地		-																
市町村計			13																

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考				
				水田		畑				草地		林地				空地その他			
	類地区区分	包含される示性式	面積(Km ²)	土占有率	平均収獲量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収獲量率	土占有率	人工林			天然林		土地利用占有率	
						土占有率	主要作物および平均収獲量	土占有率	主要作物および平均収獲量				スギ	アテ		スギ	アテ		土占有率
七尾市	1類地		—																
	2類地	1.12 1.22	21	A	100		野菜												
	3類地	1.13 1.23 1.33 1.33 1.33	46	C	90		野菜					D	スギ アテ 98	C	アカマツ 112				
	4類地	1.41 1.42 1.43 1.44 2.43	62									C	スギ アテ 103	B	アカマツ 広葉樹 112				
	5類地	1.51 1.52 1.53 1.54 2.52	12									D	スギ アテ 106	A	アカマツ 広葉樹 119				
	6類地		—																
	7類地		—																
	8類地		3																
市町村計			144																
羽咋市	1類地		—																
	2類地	1.12	26	A	109														
	3類地	1.13 1.32 1.33	23	C	99	D	野菜					D	クロマツ 95				D		
	4類地	1.41 1.42 1.43 1.44	25									C	スギ 96	D	アカマツ 広葉樹 100				
	5類地	1.51 1.52 1.53	5									D	スギ 103	A	アカマツ 広葉樹 122				
	6類地		—																
	7類地		—																
	8類地		2																
市町村計			81																

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考	
				水田		畑				草地		林地				空地その他		
	類地区分	包含される示性式	面積(km ²)	土占有率	平均収穫量率	土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	草地の種類および平均収穫率	土占有率	人工林		天然林			土地利用占有率
													スギ	その他	スギ	その他		
富来町	1類地		—															
	2類地	1.12 1.22	10	A	91										D	アカマツ 広葉樹 125		
	3類地	1.13 1.23 1.31 1.32 1.33	33	D	91	D	たばこ 110						C	スギ アテ 96	B	アカマツ 広葉樹 108		
	4類地	1.14 1.44 1.34 1.41 1.42 1.43	76										C	スギ アテ 97	B	アカマツ 広葉樹 97		
	5類地	1.52	2										A	スギ 108				
	6類地	1.35	0															
	7類地	1.10 1.20 1.30 1.40	3															
	8類地		—															A
市町村計			124															
志雄町	1類地		—															
	2類地	1.12	8	A	103													
	3類地	1.13 1.23 1.31 1.32 1.33	7			D	野菜						B	スギ クロマツ 102	D	アカマツ 広葉樹 110		
	4類地	1.41 1.42 1.43 1.44	44										C	スギ 100	B	アカマツ 広葉樹 118		
	5類地		—															
	6類地		—															
	7類地		—															
	8類地		—															
市町村計			59															

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考	
				水田		畑				草地		林地				空地その他
	包含される示性式	面積(Km ²)	土占有率	平均収穫量率	土占有率	主要作物おおよび平均収穫量	土占有率	主要作物おおよび平均収穫量	土占有率	草地の種類おおよび平均収穫量率	土占有率	主要樹種おおよび平均収穫量	土占有率	主要樹種おおよび平均収穫量		土地利用占有率
志賀町	1類地		—													
	2類地	1.12	9	A	101							D	スギ アテ 115			
	3類地	1.13 1.23 1.32 1.33	45	C	96							D	スギ アテ 85	C	アカマツ 広葉樹 98	
	4類地	1.24 1.34 1.42 1.43 1.44	65									C	スギ アテ 93	B	アカマツ 広葉樹 93	
	5類地	1.53	1													
	6類地		—													
	7類地	1.10	2													A
	8類地		—													
市町村計			122													
水押町	1類地		—													
	2類地	1.12 1.21 1.22	13	A	98											
	3類地	1.13 1.23 1.32	10	C	98							C	スギ 82			
	4類地	1.41 2.43 1.42 1.43 1.44 2.33	31									C	スギ アテ 102	A	アカマツ 広葉樹 113	
	5類地	1.53	0													
	6類地		—													
	7類地		—													
	8類地		—													
市町村計			54													

市町村名	類地区区分			土地利用の現況													備考		
	類地区区分	包含される示性式	面積 (km ²)	水田			畑				草地		林地		空地その他 土地利用 占有率				
				土地 利用率	平均収 穫量率	土地 利用率	普通畑		樹園地		土地 利用率	草地 の種 類 平均 収 穫 率	土地 利用率	人工林		天然林			
							主要作物 および 均収 穫量 率	土地 有 率	主要作物 および 均収 穫量 率	土地 有 率				主要樹種 および 均収 穫量 率		土地 有 率		主要樹種 および 均収 穫量 率	土地 有 率
田 鶴 浜 町	1類地		—																
	2類地	1.12 1.22	5	C	94								D	スギ アテ 119	D	広葉樹 118			
	3類地	1.13 1.23 1.33	8	B	94								D	スギ アテ 92	D	広葉樹 102			
	4類地	1.42 1.43 1.44	17										C	スギ アテ 100	C	アカマツ 広葉樹 102			
	5類地		—																
	6類地		—																
	7類地		—																
	8類地		—																
市町村計			30																
鳥 屋 町	1類地		—																
	2類地	1.12	9	B	100								D	スギ 116					
	3類地	1.32 1.33	1	A	100														
	4類地	1.24 1.42 1.43 1.44	16										D	スギ アテ 99	B	アカマツ モミ 広葉樹 97			
	5類地	1.52 1.53	1										C	スギ 116	B	アカマツ 広葉樹 100			
	6類地		—																
	7類地		—																
	8類地		—																
市町村計			27																

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考	
				水田		畑				草地		林地		空地その他		
	包含される示性式	面積(Km ²)	土占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収穫量率	土占有率	人工林	天然林	土地利用占有率		
					土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	主要作物および平均収穫量				スギアテ	主要樹種および平均収穫量			土占有率
中島町	1類地		—													
	2類地	1.12 1.22	11	A	97						D	スギアテ 119				
	3類地	1.13 1.23 1.32 1.33	12	C	92						C	スギアテ 95	D	広葉樹 105		
	4類地	1.34 1.42 1.43 1.44	76								C	スギアテ アカマツ 99	B	アカマツ 広葉樹 100		
	5類地		—													
	6類地		—													
	7類地		—													
	8類地		—													
市町村計			99													
鹿島町	1類地		—													
	2類地	1.12 1.22	15	A	95											
	3類地	1.32 1.33	3	C	90						B	スギアテ 98				
	4類地	1.41 1.42 1.43 2.33 2.43	15								B	スギアテ 109	C	アカマツ 広葉樹 122		
	5類地	1.51 1.52 1.53 2.53	15								C	スギアテ 107	B	アカマツ 広葉樹 119		
	6類地		—													
	7類地		—													
	8類地		—													
市町村計			48													

市町 村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地 その他	
	類地区分	包含される示性式	面積 (km ²)	土占有 利用率	平均収 穫量率	土占有 利用率	主要作物 および平 均収穫量 率	土占有 利用率	主要作物 および平 均収穫量 率	土占有 利用率	草地 の種 類 および 平均 収穫 量率	土占有 利用率	主要樹種 および平 均収穫 量率	土占有 利用率		主要樹種 および平 均収穫 量率	土地利用 占有率
能 登 島 町	1類地		—														
	2類地	1.12	4	A	92							D	スギ 116				
	3類地	1.13 1.23 1.33	13	C	92	C	たばこ 90						D	スギ 89	B	アカマツ 広葉樹 98	
	4類地	1.14 1.44 1.24 1.34 1.42 1.45	30									D	スギ 94	A	アカマツ 広葉樹 89		
	5類地		—														
	6類地		—														
	7類地		0														
	8類地		—														
市町村計			47														
鹿 西 町	1類地		—														
	2類地	1.12	6	B	102							D	スギ 116				
	3類地		—														
	4類地	1.24 1.42 1.43 1.44	4									C	スギ アテ 98	B	アカマツ 広葉樹 99		
	5類地	1.52 1.53	4									B	スギ アテ 103	C	アカマツ 広葉樹 116		
	6類地		—														
	7類地		—														
	8類地		—														
市町村計			14														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考			
	地区区分	包含される示性式	面積(Km ²)	水田		畑				草地		林地				空地その他		
				土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用率		主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率	
																		普通畑
輪島市	1類地	1.11	1	A	95													
	2類地	1.12	14	A	92												D	
	3類地	1.31 1.32 1.33 1.23	29	C	87		たばこ 105					C	スギ アテ 100	B	アカマツ 広葉樹 115			
	4類地	1.34 2.43 1.41 1.42 1.43 1.44	204									B	スギ アテ 101	C	アカマツ 広葉樹 112			
	5類地	1.51 1.52 1.53 1.54 2.44	18									C	スギ アテ 115	B	アカマツ 広葉樹 110			
	6類地		—															
	7類地	1.30 1.40 1.50	5															
	8類地		—														A	
市町村計			271															
珠洲市	1類地		—															
	2類地	1.12 1.22	20	A	95									D	アカマツ 広葉樹 133	D		
	3類地	1.13 1.23 1.32 1.33	58	D	90		たばこ 105					D	スギ 93	B	アカマツ 広葉樹 111			
	4類地	1.24 2.43 1.34 1.41 1.42 1.44	162									D	スギ 96	A	アカマツ 広葉樹 58			
	5類地	1.53 1.54 2.44	2									D		B	アカマツ 広葉樹 83			
	6類地		—															
	7類地	1.30 1.40	5															
	8類地		—															
市町村計			247															

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
	地区分	包含される示性式	面積 (km ²)	水田		畑				草地		林地		空地その他			
				土占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収穫率	土占有率	天然林			土地利用占有率	
						土占有率	主要作物および平均収穫率	土占有率	主要作物および平均収穫率				人工林	主要樹種および平均収穫率			
能都町	1類地		—														
	2類地	1.12	15	A	90								C	広葉樹 118			
	3類地	1.32 1.33	32	C	85	B	野菜					D	スギ アテ 99	C	アカマツ 広葉樹 111		
	4類地	1.34 1.41 1.42 1.43 1.44	68										D	スギ アテ 101	B	アカマツ 広葉樹 107	
	5類地		—														
	6類地		—														
	7類地	1.10	0														
	8類地		—														
市町村計			115														
穴水町	1類地		—														
	2類地	1.12 1.22	10	A	91												
	3類地	1.13 1.23 1.32 1.33	38	D	86		たばこ 105					D	スギ アテ 97	D	アカマツ 広葉樹 108		
	4類地	1.34 1.41 1.42 1.43 1.44	130									C	スギ アテ 103	B	アカマツ 広葉樹 103		
	5類地	1.51	1														
	6類地		—														
	7類地	1.10 1.20 1.30	4													A	
	8類地		—														
市町村計			183														

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考
				水田		畑				草地		人工林		天然林		空地その他	
	包含される示性式	面積 (km ²)	土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量率	土地利用率	草地の種類おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要樹種おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要樹種おおよび平均収穫量率	土地利用占有率		
門前町	1類地		—														
	2類地	1.12 1.22	11	A	91							C	スギ アテ 122				
	3類地	1.23 1.31 1.32 1.33	33	D	86	D	たばこ 95					C	スギ アテ 109	C	アカマン クロマン 広葉樹 122		
	4類地	1.34 1.41 1.42 1.43 1.44	105									B	スギ アテ アカマン 106	C	アカマン クロマン 広葉樹 109		
	5類地	1.52 1.53	5									B	スギ アテ アカマン 105	C	アカマン クロマン 広葉樹 112		
	6類地		—														
	7類地	1.20 1.40 1.50	4													A	
	8類地		—														
市町村計			158														
柳田村	1類地		—														
	2類地	1.12	8	A	91									D	広葉樹 118		
	3類地	1.32 1.33	8	D	野菜							D	スギ 93	D	広葉樹 107		
	4類地	1.41 1.42 1.43 1.44 2.43	88									D	スギ アテ 91	B	アカマン 広葉樹 94		
	5類地	2.44	1											A	広葉樹 80		
	6類地		—														
	7類地		—														
	8類地		—														
市町村計			105														

市町村名	類地区分			土地利用の現況										備考		
				水田		畑				草地		林地			空地その他	
	土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率			
内浦町	1類地		-													
	2類地	1.12 1.22	9	C	87								D	アカマツ 広葉樹 133		
	3類地	1.13 1.23 1.31 1.32 1.33	26		D	たばこ 100						D	スギ 93	B	アカマツ 広葉樹 110	
	4類地	1.24 1.44 1.34 1.41 1.42 1.43	16									D	スギ 104	B	アカマツ 広葉樹 104	
	5類地		-													
	6類地		-													
	7類地	1.10 1.20	3													D
	8類地		-													
市町村計			54													
市町村計	1類地															
	2類地															
	3類地															
	4類地															
	5類地															
	6類地															
	7類地															
	8類地															
市町村計																

1974年3月 印刷発行

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

石 川 県

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印刷 研友社印刷株式会社

埼玉県和光市白子 3 - 35 - 9

電話 (0484) 63-1411

